

平成31年度

一般入試学生募集要項



国立大学法人 秋田大学
Akita University

一般入試の実施方式等について

- 1 一般入試の実施方式
本学の一般入試は、「前期日程」と「後期日程」の二つに分けた、分離分割方式で実施します。
- 2 一般入試への出願
志願者は、国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。（公立大学中期日程にも出願することができます。）
従って、本学の「前期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部の「前期日程」に出願することはできません。
また、本学の「後期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。
※公立大学協会ホームページ (<http://www.kodaiyo.org/>) 参照
- 3 学内併願
本学の「前期日程」と「後期日程」の両方に出願することは、同じ学部・学科・課程・専攻・コースの場合、異なる学部・学科・課程・専攻・コースの場合とも可能です。
なお、学内併願の場合であっても、出願書類は、日程別にそれぞれ提出する必要があります。
- 4 推薦入試に合格した場合の取扱い
本学または他の国公立大学・学部の推薦入試に合格した者は、当該推薦入試を実施した大学・学部から入学辞退を許可された場合を除き、本学の一般入試を受験しても、合格者とはなりません。
- 5 アドミッション・オフィス(AO)入試に合格した場合の取扱い
本学または他の国公立大学・学部のアドミッション・オフィス(AO)入試に合格した者は、当該アドミッション・オフィス(AO)入試を実施した大学・学部の定める手続きにより入学を辞退した場合を除き、本学の一般入試を受験しても、合格者とはなりません。
- 6 大学入試センター試験の受験科目について
本学では大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。必ず平成31年度大学入試センター試験を受験してください。
志望する学科、課程、専攻、コースの課す大学入試センター試験の教科・科目をすべて受けなければ、出願できません。

一般入試における入試過去問題の使用について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。
また、使用した過去問題については、入試終了後、受験者に分かるような形で公表します。

一般入試以外への出願について

アドミッション・オフィス(AO)入試、推薦入試、私費外国人留学生入試および渡日前入学許可制度による私費外国人留学生入試の学生募集要項は、この要項とは別冊子になっています。

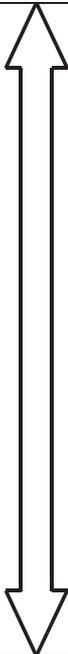
入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にあつては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。

平成31年度秋田大学一般入試日程

月	日	曜日	【前期日程】	【後期日程】
1月	28	月	 出願期間 〔原則として郵送に限ります。 ただし、持参する場合は、9時から17時の間に受付します。 (土・日曜日は除きます。 2月6日必着)〕	 出願期間 〔原則として郵送に限ります。 ただし、持参する場合は、9時から17時の間に受付します。 (土・日曜日は除きます。 2月6日必着)〕
	29	火		
	30	水		
	31	木		
2月	1	金		
	2	土		
	3	日		
	4	月		
	5	火		
	6	水		
2月	11	月	医学部医学科のみ 2段階選抜における第1段階選抜の実施の有無、結果通知の発送	医学部医学科のみ 2段階選抜における第1段階選抜の実施の有無、結果通知の発送
	25	月	入学試験	
	26	火	入学試験 ※注 〔医学部医学科面接〕	
3月	7	木	合格者発表	
	12	火		入学試験
	14	木	 入学手続期間	
	15	金		
	21	木		合格者発表
	26	火		 入学手続期間
	27	水		
	28	木	追加合格	

※注) 医学部医学科の入学試験は、2月25日・26日の2日間です。

目 次

一般入試の実施方式等について
平成31年度秋田大学一般入試日程

秋田大学の理念と基本的な目標	1
秋田大学および各学部のアドミッション・ポリシー	
秋 田 大 学	1
国際資源学部	2
教育文化学部	5
医 学 部	11
理 工 学 部	15
I 募集人員	19
II 一般入試	
1 出願資格	20
2 入学者選抜方法等	20
3 個別学力検査等の日程および試験場	33
4 出願手続	36
5 配慮を必要とする入学志願者の事前相談	39
6 合格者の発表	40
7 入学手続	40
8 追加合格	41
9 入試情報の提供および開示	42
III その他	
1 国際資源学部の入学志願者へ	43
2 教育文化学部の入学志願者へ	43
3 理工学部の入学志願者へ	44
4 検定料免除について	44
5 入学料免除・徴収猶予および授業料免除について	45
6 秋田大学「新入生育英奨学資金」について	46
7 学生寮について	47
8 平成31年度秋田大学「個別の入学資格審査」について	48
9 試験場の案内	50

添付書類等（前期日程および後期日程の出願に必要な、次の書類が透明封筒にそれぞれ入っています。）

- ① 入学志願票・電算処理原票・受験票・写真票
- ② 入学志願票記入例
- ③ 検定料収納証明書貼付台紙
- ④ 入学検定料支払方法のご案内
- ⑤ あて名票
- ⑥ 受験票等送付用封筒
- ⑦ 教育文化学部実技検査調書
- ⑧ スポーツ活動の調書
- ⑨ 出願用封筒

秋田大学の理念と基本的な目標

基本理念

- 国際的な水準の教育・研究を遂行します。
- 地域の振興と地球規模の課題の解決に寄与します。
- 国の内外で活躍する有為な人材を育成します。

基本的な目標

1. 教育においては、質の国際通用性を高め、地域と世界の諸課題の解決に取り組む人材を育成する。
2. 研究においては、地域の特性を活かした研究とグローバルな課題に対応する研究に取り組むことにより、イノベーションの創出を推進し、その成果を継続的に地域と世界に発信する。
3. 社会連携においては、教育研究成果を地域社会に還元し、地域と協働した地域振興策の取組を推進するとともに、地域医療の中核的役割を担う。
4. 国際化においては、資源産出国を中心とした諸外国の留学生・研究者との学術交流を推進するとともに、学生や教職員の海外留学・派遣を促進する。
5. 大学経営においては、学長主導の下、学生および教職員一人ひとりの活力を相乗的に高めた組織文化を浸透させ、透明性を確保した健全で効率的な大学経営を目指す。

『全学の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

秋田大学では、21世紀の日本ならびに国際社会において、指導的な役割を担うことができる人材の育成を目指しています。このため秋田大学は、学生が幅広い教養と深い専門性、そして高い倫理性に裏付けられた豊かな人間力を涵養できることを全学の教育目標としています。

このような目標のもと、次のような資質や意欲をもった人を、入学者として求めています。

1. 学問への探求心を持ち、その発展に主体性と創造性を持って尽くしたい人
2. 学士課程教育を受けるにふさわしい基礎的な知識・技能と、それらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力を持った人
3. 地域社会や国際社会の諸課題を理解し、その解決に寄与したい人

『各学部・課程・学科等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）』

学部、学科、課程等の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）は、下記の項目によって成り立っており、入学を希望する人に求める能力や資質を具体的に示しています。

●育てる人間像と求める人物像

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

●入学者選抜の基本方針（どのような力を評価するか）

●入学者選抜における重点評価項目

※学力の3要素

- ・「基礎的な知識・技能」
- ・「知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力」
- ・「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）」

【国際資源学部】

[国際資源学科]

◆育てる人間像

国際資源学部では、地球規模となった資源問題の解決を目指し、豊かな人間性と国際的視野を併せ持ち、新たな資源探査・開発技術や環境保全技術と資源・エネルギー戦略の発展・革新を担う人材を育成します。

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境問題への強い関心を持ち、その解決策をねばり強く、柔軟に思考・探求できる人
2. 自然科学と人文社会科学の両面から資源問題を総合的に捉え、実務家、技術者、研究者として社会の発展に貢献したいという意欲を持ち、新たな課題へ立ち向かうチャレンジ精神のある人
3. 国際的に通用する論理的思考力と判断力および外国語による表現力とコミュニケーション能力を身につけ、グローバルなフィールドで活躍しようとする人

《資源政策コース》

●求める人物像

1. 資源・エネルギー・環境等の地球全体の課題に関心を持ち、持続可能な社会形成に貢献したいと思っている人
2. 国際社会の様々な分野で活躍したいと考えている人
3. 多様な価値観を持つ人々との交流に強い関心を持っている人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語—多様な価値観の理解に求められるコミュニケーション能力、表現力、読解力
英語—国際社会で活躍するために基礎となるコミュニケーション能力、表現力、読解力
数学・理科—自然科学に対する基礎学力と論理的思考能力
地理歴史—世界の文化・歴史・産業に対する関心の高さとう理解力

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、国際社会の動向に高い関心を有し、かつ日本語および外国語（英語）の文章から的確に情報を読み取る読解力と論理的表現力に優れた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等では国語および外国語（英語）を課すことで「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」を重視した評価を行い、資源政策コースがカバーする専門分野を学ぶために必要な知識と思考力、表現力を備えた人を総合的に選抜します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、国際社会の動向に高い関心を有し、背景となる世界地理および歴史の基礎知識を持ち、かつ自らの考えを論理的かつ説得力をもって展開できる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として地理歴史の口頭試問を含めた面接を課して「知識・教養」に加えて、学ぶことへの「関心・意欲」と「表現力」を重視した評価を行います。資源政策コースがカバーする専門分野を学ぶために必要な知識と思考力、専門分野への関心の高さおよび表現力・コミュニケーション能力を備えた人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
面接 (口頭試問含む)	後期日程	○	○	○	○	
調査書	前期日程 後期日程	○				○

《資源地球科学コース》

●求める人物像

1. 自然現象への好奇心が強く、地球の成り立ちを解明することや新たな資源を探求することに挑戦する意欲のある人
2. 物事を深く洞察し、野外調査や実験にねばり強く取り組める人
3. 将来、地下資源探査・開発に関わる技術者として、または資源地球科学分野の研究者として国際的に活躍したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—文章を読む読解力、論理的な思考力、自分の考えを表現できる表現力
- 英語—英語の読解力と基礎的なコミュニケーション能力
- 数学—数学の基本的な概念の理解と計算力
- 地理歴史—国内外で活躍するために必要な基本的な知識、教養
- 理科—物理、化学、生物、または地学分野の内容の理解と科学的探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的な好奇心と学習意欲を有し、科学的根拠に基づいた論理的思考力および多面的なものの考え方を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「幅広い知識と教養」、「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として数学、理科、外国語（英語）を課して「科学的・論理的思考力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、地球の成り立ち、地質や岩石などの地球科学に対する知的な好奇心と学習意欲を有し、かつ自らの考えを論理的かつ説得力をもって展開できる人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「幅広い知識と教養」を評価し、個別学力検査等として理科（物理、化学、地学から選択）の口頭試問を含めた面接を課して「専門分野についての関心と意欲」、「理科の基礎知識と探究心」「論理的に考え説明できる思考力、判断力、表現力」「協働性などの人間性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
面接 (口頭試問含む)	後期日程	○	○	○	○	○
調査書	前期日程 後期日程	○				○

《資源開発環境コース》

●求める人物像

1. 資源の探査，資源・エネルギーの生産手法，リサイクルなどに強い興味を持つ人
2. 多様な観点で物事を観察し，新たな価値の創造へ果敢に挑戦する意欲を持つ人
3. 自然環境と調和した技術やシステムの開発を実現し，環境に配慮した資源開発と資源循環型社会の創出に貢献したい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語－国際社会で活躍するための基礎となるコミュニケーション能力，読解力，思考力，表現力
数 学－「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」における内容の理解と数学的応用力，
論理的な思考力

地歴・公民－地理歴史，公民における基礎知識と世界的な視点に基づく地理，歴史，文化・制度，政治・
経済などを通じた考察力

理 科－物理，化学，生物または地学分野における内容の理解と自然科学を理解するための知識の活
用と思考力

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と学習意欲を有し，科学的根拠に基づいた論理的思考力および多面的なものの考え方を備えた人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価し，個別学力検査等では数学，理科，外国語（英語）を課すことで「知識と思考力」を重視した評価を行います。資源開発環境分野の専門領域を学ぶために必要な知識と思考力，判断力を備えた人を総合的に選抜します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち，資源開発，地球環境問題，エネルギーやリサイクルに対する興味と学習意欲，知的好奇心を有し，かつ自らの考えを論理的かつ的確に表現できる人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「知識・教養」と「思考力・判断力」を評価し，個別学力検査等では理科（物理，化学から選択）の口頭試問を含めた面接を課して「思考力・表現力」に加え，学ぶことに対する「意欲・主体性・協働性」を重点的に評価します。資源開発環境分野の専門領域を学ぶために必要な知識と思考力，判断力，専門分野への関心の強さ，表現力や説明力，学習意欲を有する人を総合的に選抜します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程			○	○	
面接 (口頭試問含む)	後期日程	○	○	○	○	○
調査書	前期日程 後期日程	○				○

【教育文化学部】

◆育てる人間像

教育文化学部では人間存在をめぐる現代的課題を総合的に探究し、教員および新たな生活文化の創造を担う人材を育成します。

[学校教育課程]

●求める人物像

多様な教育的諸課題に対処できるように、豊かな人間性と専門的知識・技術、幅広い教養を基盤とする実践的な指導力を備えた教員を目指す強い意志のある人を求めています。

《教育実践コース》

●求める人物像

1. 学校の教員として働こうとする強い意志のある人
2. 子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 学校教育のさまざまな課題に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- | | |
|---------|---|
| 国 | 語－国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度 |
| 英 | 語－言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力 |
| 数 | 学－数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度 |
| 地歴・公民 | －日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質 |
| 理 | 科－自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観 |
| 保健体育・芸術 | －実技実践能力を養うために求められる知識、技術力や表現力 |

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、学校教育を広い視野から論理的・実践的に学ぶための能力を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として国語、数学、英語の3教科と実技検査（音楽、美術、体育）をあわせた4教科等から1教科等を課して「学校教育を考え実践するための思考力・判断力と技能・表現力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、教員として学校教育の課題に積極的に取り組むうえでの、論理的思考能力や技能を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として小論文または実技検査（音楽、美術、体育）を課して「読解力、論理的思考能力、発想力、文章表現力、および技能・表現力」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性	技能
センター試験	前期日程 後期日程			○	○		
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○		
個別学力検査 《実技》	前期日程 後期日程	○	○				○
小論文	後期日程	○	○	○	○		
調査書	前期日程 後期日程	○		○		○	
実技検査調書	前期日程 後期日程	○				○	

《英語教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望し、理論的知識を身につけ実践的能力を養うことに積極的に取り組もうとする人
2. 英語教育について高い関心があり、英語教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組もうとする人
3. 英語力を向上させることについて意欲と情熱を持ち、学習する機会を積極的に捉え、英語力を伸ばすための努力を惜しまない人
4. グローバル社会における異文化間コミュニケーションの重要性を意識し、自ら進んで外国の人々とのコミュニケーションを図ろうとする人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力と英語運用能力を身につけており、英語教育を広い視野から理論的・実践的に学ぶ意欲を持ち、グローバル社会に通用する英語教育を追究する人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として国語、英語（リスニングを含む）の2教科および面接（英語スピーキングテスト）を課して「日本語による論理的な思考力、英語による論理的な理解力・表現力、英語教育に対する関心・意欲、主体性と協働性」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力と英語運用能力を身につけており、英語における論理的な思考力および豊かな発想に基づく表現力を強みとして、グローバル社会に通用する英語教育を追究する人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として小論文（英文）および面接（英語および日本語）を課して「大学での学習に必要なとされる言語に関する読解力・表現力・論理的な思考力、および英語教育に対する関心・意欲、主体性と協働性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査《教科》	前期日程		○	○	○	
面接（口頭試問含む）	後期日程	○	○		○	○
調査書	前期日程 後期日程	○		○		○

《理数教育コース》

●求める人物像

1. 教員となることを強く希望する人
2. 理科教育・数学教育の現代的な諸課題の解決に向けて積極的に取り組もうとする意欲のある人
3. 自然科学に興味や関心を持ち、実験や観察を通じた理科教育に熱意のある人
4. 数学への理解を深め、数学の学習を通して、自然や社会に対して自ら進んで論理的に考える態度を育てたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学—数学(数学Ⅲを含む)の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

大学入試センター試験に加えて、個別学力検査等として数学または理科のうちから1教科を課して、「数学・自然科学に関する知識・技能、論理的思考力、判断力、表現力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

大学入試センター試験で「知識・技能、思考力、判断力」を評価し、個別学力検査等として面接を課して「表現力、意欲、関心、態度」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査《教科》	前期日程		○	○	○	
面接	後期日程	○	○		○	
調査書	前期日程 後期日程	○		○		○

《特別支援教育コース》

●求める人物像

1. 特別支援学校や小学校・中学校等で働くことを強く希望する人
2. 障害のある子どもに対する理解と教育に強い情熱を持つ人
3. 特別支援教育のさまざまな教育課題に積極的に取り組む意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語 語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英語 語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数学 学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力と読解、表現、論理的思考に十分な能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として国語、数学、英語の3教科から2教科を課して「大学での学習に必要な基礎的知識と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力、他の人と力を合わせて課題解決にあたる能力および特別支援学校や小学校・中学校等での仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として小論文および面接（口頭試問を含む）を課して「他者と協働して物事に取り組む態度および特別支援教育を学ぶ意欲」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
小論文	後期日程		○	○	○	
面接 (口頭試問含む)	後期日程	○		○	○	○
調査書	前期日程 後期日程	○		○		○

《こども発達コース》

●求める人物像

1. 幼稚園・保育関連施設・小学校の仕事に携わることが強く希望する人
2. 子どもに対する理解と教育・保育・心理支援に強い情熱を持つ人
3. 乳幼児期から児童期の子どもに関わるさまざまな教育・保育課題や、子どもへの心理発達の支援に積極的に取り組もうとする意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国 語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英 語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数 学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理 科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、読解、表現、論理的思考に十分な能力を有するとともに、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として国語、数学、英語の3教科から2教科を課して「大学での学習に必要なとされる基礎的知識と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、資料の分析と読解および自分の考えの表現に十分な能力を有するとともに、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に高い関心と意欲を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」」を評価し、個別学力検査等として記述問題および面接（口頭試問を含む）を課して「資料の分析と読解および自分の考えを表現する能力と、こども発達コースでの学習および子どもに関連した教育・保育施設等でのより専門的な仕事に対する関心と意欲」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識教養	思考力判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
記述問題	後期日程		○	○	○	
面接 (口頭試問含む)	後期日程	○	○	○	○	○
調査書	前期日程 後期日程	○		○		○

[地域文化学科]

●求める人物像

1. 地域社会の将来を展望し、行政・経済・生活・文化などの各方面において地域の活性化に貢献したいという強い情熱のある人
2. 地域の抱えるさまざまな問題に対して、人文・社会科学や生活科学、自然科学、情報科学、心理学の総合的な成果を踏まえて分析し、これに実践的に応えていこうという意欲のある人
3. 地域の特性・伝統を理解しながら、日本および世界の歴史・文化に対しても幅広い関心を有し、学業で得た知識・経験を積極的に活用し、地域文化の継承・発展に取り組もうという意欲のある人
4. 地域情報を世界に向けて発信し、世界の各地域との交流を促進しようという意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国 語—国語を適切に表現し的確に理解する能力、伝え合う力、思考力・想像力と、言語文化に対する関心および国語を尊重する態度
- 英 語—言語や文化に対する理解と、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする英語コミュニケーション能力
- 数 学—数学の基本的な概念や原理・法則についての体系的な理解と、それらを活用し、数学的論拠に基づいて判断する態度
- 地歴・公民—日本および世界の歴史と生活・文化の地域的特色についての理解と、国際社会で主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する公民的資質
- 理 科—自然の事物・現象に対する関心や探究心と、そのために必要な科学的に探究する能力と態度、および、自然の事物・現象についての理解と科学的な自然観

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

高等学校等で学ぶ全科目のバランスのとれた基礎知識を有し、さらに読解力や語学力、論理的思考についてより高い能力を持つ人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として国語、数学、英語の3教科から2教科を課して「大学での学習に必要なとされる基礎的知識と、言語・数理に関する読解力・表現力・論理的思考力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、日本語による表現力と自己の見解を論理的かつ説得力を持って展開する能力を有する人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「各教科内容に関連した「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として小論文を課して「幅広い知識・教養に基づく論理的思考力・判断力と読解力や表現力を含む言語運用能力」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識 教養	思考力 判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○	
小論文	後期日程		○	○	○	
調査書	前期日程 後期日程	○		○		○

【医学部】

◆育てる人間像

医学部では、豊かな教養に支えられた人間性と高い倫理観および学問の進歩に対応しうる柔軟な適応能力と課題探求・問題解決能力を養い、医学・健康科学に対する十分な理解のもとに、人々の健康と医療・福祉に貢献できる国際的視野を備えた使命感にあふれる人材を育成します。

●求める人物像

1. 病気に悩む人々の痛みや苦しみを理解し真摯な態度で接することができる人
2. 医療・保健・福祉の発展を目指して一生涯にわたり医学の研鑽にたゆみない努力を継続できる人
3. 素直で協調性に富み、周囲の人々と円滑な人間関係を築けるコミュニケーション能力を持つ人

[医学科]

●求める人物像

1. 地域医療への理解と共感を有し、将来の医師としての強い倫理観を持ち、住民の健康・福祉に寄与できる人
2. 基礎および臨床医学や社会医学の研究に深い関心を持ち、国際性を備えた研究者としての資質を有する人
3. 大学入学後の学業に支障ないだけの隔たりのない基礎学力を持ち、生命科学に対する関心を持つ将来性豊かな人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—文化・社会の理解に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
- 英語—国際社会に求められる読解と表現に関わる幅広い基礎知識およびコミュニケーション能力
- 数学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解とそれらを活かせる数学的思考力
- 地歴・公民—将来、地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な知識や教養
- 理科—「生物」「化学」および「物理」の幅広い知識と科学的な探究心
- その他—ストレスに負けない体力と精神力、周囲の人々との協調性

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

論理的思考能力と国際性に優れ、医師としての適性を備えた学生を選抜します。特に、地域医療への理解、医学に対する知的関心と学習意欲、社会貢献への意欲を有する学生を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として、英語および数学の2教科と面接を課して「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協調性」「将来性」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

幅広い人間的視野を備え、人間性・創造性豊かな医師や医学研究者となりうる適性、資質、意欲を備えた人材を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力検査等として、小論文と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」「協調性」「将来性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協調性	将来性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○		
個別学力検査 《教科》	前期日程		○	○	○		
小論文	後期日程	○	○	○	○		
面接	前期日程 後期日程	○	○		○	○	○
調査書	前期日程 後期日程	○				○	○

[保健学科]

《看護学専攻》

●求める人物像

1. 看護学に関する高い関心と看護職として人々の健康や生活を支えたいという意欲を持つ人
2. 豊かな人間性と協調性を備え、高い倫理性を育ていける人
3. 十分な基礎学力を持ち、探究心を持って主体的に学習できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

- 国語—文章の的確な理解と論理的に思考し表現する力、およびコミュニケーション能力
- 英語—読解・表現に関わる幅広い基礎知識と英語でコミュニケーションをとろうとする積極性
- 数学—数学の基本的原理・法則の理解、正確な計算力と論理的な思考力
- 地歴・公民—地域社会の地理的・歴史的背景や仕組みを理解する力と社会情勢の変化に対する関心
- 理科—生命現象や自然の諸現象を科学的に考察し説明する能力

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、かつ科学的根拠に基づいた思考力、看護の実践ができる資質を備えた人を求めます。同時に国際的な視野を持ち、知的関心度が高く、かつ人間性に優れた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として英語と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識」「思考力・判断力」「協調性」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、地域における保健医療活動への理解と共感を持ち、論理性を備え幅広い人間性を持った看護職となりうる資質と意欲を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として小論文と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識」「思考力・判断力」「協調性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識	思考力判断力	協調性
センター試験	前期日程 後期日程			○		
個別学力検査 《教科》	前期日程			○	○	
小論文	後期日程		○		○	
面接	前期日程 後期日程	○	○		○	○
調査書	前期日程 後期日程	○		○		○

《理学療法学専攻》

●求める人物像

1. 理学療法学に対する強い関心や学習意欲を持つ人
2. 地域住民の健康増進や福祉に寄与したいとする意志と豊かな人間性を持つ人
3. グローバルな視野を持ち、科学的探究心の強い人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語—地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力，読解力，思考力

数 学—数学の基本的な概念や原理・法則の理解，計算力と論理的な思考力

地歴・公民—地域や国際社会で良識を持った人間として活躍するために必要な知識や素養

理 科—全般的な基礎知識と科学的な探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、理学療法士としての適性、科学的・論理的思考能力とグローバルな視野を持った人を求めます。特に人間の理解と障害のある人への関心度の高い人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として、英語と面接を課して「論理性・判断力」「関心・意欲・態度」「知識」「協調性」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、理学療法士としての資質、意欲そして幅広い人間的視野を備えた人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し、個別学力検査等として、小論文と面接を課して「思考・判断力」「関心・意欲・態度」「知識」「協調性」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識	思考力判断力	協調性
センター試験	前期日程 後期日程			○		
個別学力検査 《教科》	前期日程			○	○	
小論文	後期日程		○		○	
面接	前期日程 後期日程	○	○		○	○
調査書	前期日程 後期日程	○		○		○

《作業療法学専攻》

●求める人物像

1. 作業療法学に興味・関心があり，学習意欲と論理的思考能力を持つ人
2. 国際的な視野を持ち，科学的探究心の強い人
3. 他者をよく理解し，細やかな配慮や行動・発言ができる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容

国語・英語—地域社会や国際的分野において活躍できるための基礎的なコミュニケーション能力，読解力，思考力

数 学—数学の基本的な概念や原理の理解，計算力と論理的な思考力

地歴・公民—将来，地域や国際社会で良識をもった人間として活躍するために必要な幅広い知識と教養

理 科—一般的な基礎知識と科学的な探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力と対人技能としての優れたコミュニケーション能力を持ち，作業療法士としての資質と国際的な視野を持った人を求めますが，特に欧米から発展してきた作業療法学の論理を理解する潜在能力のある人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等として，英語と面接を課して「英語の学力と対人技能としてのコミュニケーション能力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力と対人技能としての優れたコミュニケーション能力を持ち，作業療法士としての資質を備えた人を求めますが，特に豊かな人間性と論理的思考能力を併せ持つ人を求めます。

そのため，大学入試センター試験で「総合的な基礎学力」を評価し，個別学力検査等として，小論文と面接を課して「論理的な思考能力と対人技能としてのコミュニケーション能力」を評価します。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識	思考力判断力	協調性
センター試験	前期日程 後期日程			○		
個別学力検査 《教科》	前期日程			○	○	
小論文	後期日程		○		○	
面接	前期日程 後期日程	○	○		○	○
調査書	前期日程 後期日程	○		○		○

【理工学部】

◆育てる人間像

理工学の分野においては、人材育成と研究開発の「リージョナルセンター」として、創造力と技術力を兼ね備えた人材を供給するとともに、イノベーション創出により地域産業に更なる発展をもたらすことが期待されています。理工学部では、自ら課題を発見でき、新しい未知の分野の課題に対しても幅広い視野から、柔軟で総合的な判断で課題を解決していける人材を育成します。

●求める人物像

1. 理工学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
2. エネルギー・環境問題、新しいものづくりと物質・デバイス創成、また少子高齢化や自然災害対策などの大きな社会的課題に関心を持ち、積極的に自己学習できる人
3. 研究者や科学技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

[生命科学科]

●求める人物像

生命科学科では、生命倫理を十分に理解しながら、既存の枠組みにとらわれない独創的で、総合的・先端的な生命科学を築き上げる開拓者精神に富む学生を歓迎します。生命科学科は、次のような人を求めます。

1. 生命科学を学ぶのに必要な基礎学力、特に化学、生物についての十分な学力、また国語や英語など、十分な語学能力を有する人
2. 科学全般、特に生命科学に興味を持つことができる人
3. 勉学と研究の目標を達成できる強い意志を有している人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」における内容の理解と科学的思考力
国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野に対して、高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から受験者が選択する1科目について基礎的な試問を含む）を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」、「協働性」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 （教科のみ）	前期日程			○	○	
面接 （口頭試問含む）	後期日程	○	○	○	○	○
調査書	後期日程	○		○		○

[物質科学科]

●求める人物像

物質科学科では、原子・分子レベルからの物質設計ならびに製造技術を理解し、新機能性材料や新化学プロセス技術の創製に関する研究と開発ができる人材を養成することを使命と捉え、次のような人を入学者として求めます。

1. 物理や化学が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学的現象の解明や、化学を活かしたものづくりに興味がある人
3. 金属、半導体、セラミックスを利用した先端機能材料の開発に興味のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」における内容の理解と科学的思考力
国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な学力を持ち、化学・材料科学を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から一つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な学力を持ち、化学・材料科学を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」、「協働性」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 （教科のみ）	前期日程			○	○	
面接 （口頭試問含む）	後期日程	○	○	○	○	○
調査書	後期日程	○		○		○

[数理・電気電子情報学科]

●求める人物像

数理・電気電子情報学科では、数理科学、情報工学、電気電子工学に関する最先端の知識や技術を身に付け、また、複雑化する社会の到来に向けて、自ら学び、考えて、行動して、地域社会に貢献する技術者や研究者の育成を目指します。選考においては以下の点を重視します。

1. 数学や物理の持つ純粋科学の美しさと不思議さに惹かれ、物事や自然の原理や仕組みについて深く知りたいと思う強い気持ちがあり、粘り強く考えることが出来る人
2. 再生可能エネルギー、産業機器や家電に用いられる光・電子デバイス、情報通信技術や制御システムなどに興味があり、最先端の技術者や研究者を目指す意欲のある人
3. ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術を学び、医療、福祉、環境、防災などの地域社会の課題解決や新たな価値創造に取り組みたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」における内容の理解と科学的思考力
国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から一つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野に対して、高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」、「協働性」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 （教科のみ）	前期日程			○	○	
面接 （口頭試問含む）	後期日程	○	○	○	○	○
調査書	後期日程	○		○		○

[システムデザイン工学科]

●求める人物像

システムデザイン工学科では、環境、福祉、医療、都市、輸送、交通、防災など、社会の様々なシステムの問題に対して、基盤となる工学や技術を適切に応用し、自分で考えて問題解決できる人材の育成を目指し、次のような人を求めます。

1. 工学の基礎から実践までを学び、社会の要請に応え、地域社会へ積極的に貢献できる技術者
2. 持続的社会形成の必要性を理解し、創造的な技術開発に挑戦したい人
3. 様々な要素が複雑に絡みあう問題に対して、多面的に捉え柔軟な解決方法を提案できる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」における内容の理解と数学的思考力
理 科—「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」における内容の理解と科学的思考力
国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、読解力、思考力
そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《一般入試（前期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野を理論的・実践的に学び、社会に貢献する意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、数学と理科（「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」から一つ選択）の2教科を課して「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。

《一般入試（後期日程）》

十分な基礎学力を持ち、希望する分野に対して、高い関心と旺盛な勉学意欲を持っている人を求めます。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」、「思考力・判断力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「関心・意欲・態度」、「表現力」、「知識・教養」、「思考力・判断力」、「協働性」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

●入学者選抜方法における重点評価項目（入学者選抜方法と求める人物像の関係性）

入学者選抜方法	該当選抜区分	関心・意欲・態度	表現力	知識・教養	思考力・判断力	協働性
センター試験	前期日程 後期日程			○	○	
個別学力検査 （教科のみ）	前期日程			○	○	
面接 （口頭試問含む）	後期日程	○	○	○	○	○
調査書	後期日程	○		○		○

I 募集人員

学部・学科・課程 専攻・コース			入学 定員	募 集 人 員							
				一 般 入 試		アドミッション・ オフィス(AO) 入 試		推 薦 入 試 I	推 薦 入 試 II	私 費 外 国 留 学 生 入 試	渡 日 前 入 学 許 可 制 度 に よ る 私 費 外 国 人 留 学 生 入 試
				前 期 日 程	後 期 日 程	AO 入 試 I	AO 入 試 II				
国際 資源 学部	国際 資源 学科	資源政策コース	120	18	6	3		—	3	5	—
		資源地球科学コース		20	5	5		—	5		
		資源開発環境コース		30	7	8		—	5		
	計		120	68	18	16		—	13	5	
教育 文 化学 部	学 校 教 育 課 程	教育実践コース	45	24	8	—	—	4	9	若干名	—
		英語教育コース	10	6	2	—	—	—	2		
		理数教育コース	20	12	4	—	—	—	4		
		特別支援教育コース	15	12	3	—	—	—	—		
		こども発達コース	20	10	4	—	—	—	6		
	小 計		110	64	21	—	—	4	21		
	地 域 文 化 学 科		100	60	15	—	—	25注1	—		
計		210	124	36	—	—	29	21			
医 学 部	医 学 科		124	55	25	—	—	—	44注2	若干名	—
	保 健 学 科	看護学専攻	70	40	10	—	—	—	20	若干名	—
		理学療法学専攻	18	10	2	—	—	—	6		
		作業療法学専攻	18	10	3	—	—	—	5		
	小 計		106	60	15	—	—	—	31		
計		230	115	40	—	—	—	75			
理 工 学 部	生 命 科学 科	生命科学コース	45	注3 a 15 b 5	10	8	2	—	4	1	若干名
		物 質 科学 科	応用化学コース	110	a 38 b 27	14	8	2	—	4	
	材料理工学コース		7				3	—	4	1	
	数 理・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数理科学コース	120	a 36 b 24	18	3	2	—	2	1	
		電気電子工学コース				10	3	—	8	2	
		人間情報工学コース				5	2	—	2	2	
	シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機械工学コース	120	a 37 b 24	17	8	3	—	4	3	
		創造生産工学コース				4	2	—	2	1	
		土木環境工学コース				3	2	—	9	1	
	計		395	注4 206	注4 59	56	21	—	39	14	
合 計			955		153	93		29	148	19	

注1: 25人のうち地域連携・国際交流枠5人程度

注2: 44人のうち一般枠20人、地域枠24人(秋田県地域枠19人程度、全国地域枠5人程度)

注3: aとbでは大学入試センター試験と個別学力検査の配点が異なります。配点については30ページを参照してください。

注4: 理工学部一般入試(前期日程・後期日程)で合格した入学者は、入学した学科内の一つのコースへの配属を2年次進級の際に決定します。(生命科学科を除く。)

Ⅱ 一般入試

1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および平成31年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および平成31年3月修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）で18歳に達したもの
 - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

* ③のカによる出願は、本学において個別の入学資格審査を要するので、48～49ページを参照の上、申請してください。

2 入学者選抜方法等

(1) 選抜方法

大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査等の成績および調査書の内容を総合して判定します。

なお、**平成31年度大学入試センター試験において、志望する学科、課程、専攻、コースの課す教科・科目のすべてを受験していない場合は出願できません。また、志望する学科、課程、専攻、コースの課す個別学力検査等の教科・科目等をすべて受けなければ合格者となりえません。**

（大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。必ず、平成31年度大学入試センター試験を受験してください。）

(2) 2段階選抜

医学部医学科において、入学志願者が前期日程の募集人員（55名）の5倍、後期日程の募集人員（25名）の7倍を超えた場合、大学入試センター試験の成績（5教科7科目の素点計。ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）により第1段階選抜を行うことがあります。実施の有無、選抜実施結果（可否）については、前期日程・後期日程ともに次のとおり、**平成31年2月11日（月）に志願者全員**に発送します。

- ① 第1段階選抜を実施しない場合
志願者全員に実施しない旨の通知と本学受験票を送付します。
- ② 第1段階選抜を実施した場合
合格者には、第1段階選抜実施結果と本学受験票を送付します。
不合格者には、第1段階選抜実施結果と検定料返還手続書類を送付します。
- 第1段階選抜の実施の有無については、平成31年2月11日(月)13時以降に本学ホームページ
(<http://www.akita-u.ac.jp/>)に掲載します。
なお、第1段階選抜実施結果(可否)に関する電話の問い合わせには応じません。
また、2月18日(月)までに①または②のいずれかの通知がない場合は、秋田大学入試課
(電話 018-889-2256)へ問い合わせてください。

(3) 受験方式の選択

理工学部の前日程において、a, bの方式を設け、それぞれの方式で募集します。(以下「前期a」「前期b」とします。)

- ・前期aと前期bでは大学入試センター試験と個別学力検査の配点が異なります。各方式の配点については、30ページを参照してください。
- ・出願時にいずれかの方式を選択してください。出願後の変更はできません。

(4) 第2志望

国際資源学部および理工学部において、学部内に限り以下のとおり第2志望を認めます。
(第1志望：国際資源学部、第2志望：理工学部といった別の学部を志望することはできません)

【国際資源学部】

国際資源学部の資源地球科学コースと資源開発環境コースは前日程・後日程とも第2志望を認めます。ただし、大学入試センター試験および個別学力検査で課す教科・科目等を満たすように受験してください。(22, 26, 28ページ参照)

なお、第1志望で資源政策コースを志望する者は、第2志望を選択することはできません。資源地球科学コースまたは資源開発環境コースを第1志望とする者は、第2志望として資源政策コースを選択することはできません。

また、個別学力検査において資源地球科学コースの後日程の面接で「地学」(28ページ参照)を選択する者にあつては、資源開発環境コースを第2志望とすることはできません。

○は受験科目の要件を満たせば、第2志望とすることができるコース

第2志望とするコース		前日程			後日程		
		国際資源学科			国際資源学科		
		資源政策コース	科学資源地球コース	資源開発環境コース	資源政策コース	科学資源地球コース	資源開発環境コース
国際資源学部	資源政策コース		×	×		×	×
	資源地球科学コース	×		○	×		○
	資源開発環境コース	×	○		×	○	

【理工学部】

- ・前日程において、第2志望は、前期a, 前期bそれぞれの方式内でのみ全学科で認めます。
- ・後日程において、第2志望は、全学科で認めます。
- ・前日程の個別学力検査で「生物」を選択する者にあつては、第2志望が認められない学科があります。(26ページ参照)

(5) 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

大学入試センター試験において受験を要する教科・科目の指定内容は22～25ページのとおりです。

注意事項も必ず確認してください。

- 1科目でも受験していない場合は、出願できませんので注意してください。

○大学入試センター試験の受験を要する教科・科目および注意事項

〔国際資源学部〕

教科・科目		受験を要する教科・科目名																															
		国語	地理歴史				公民				数学				理科				外国語														
学部・学科・コース	日程	パターン	国語	世界史 A	世界史 B	日本史 A	日本史 B	地理 A	地理 B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学 I	数学 I・数学 A	数学 II	数学 II・数学 B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
			国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	前期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
後期	①	1				2				1				1				2				1											
②	◎	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
①	1	2				1				1				1				1															
国際資源学科	資源地球科学コース	前期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国際資源学科	資源開発環境コース	前期	①	1	1				1				2				1				1												
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国際資源学科	資源開発環境コース	後期	①	1	1				1				2				1				1												
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

〔国際資源学部における注意事項〕

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- オ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

〔医学部〕

教科・科目		受験を要する教科・科目名																																
		国語	地理歴史				公民			数学					理科				外国語															
学部・学科等	日程	パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		
			医学部	医学科	前期	◎	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○
後期	1							1							1		1										2				1			
保健学科	看護学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	前期		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
		後期		1					1							1		1										1				1		
		①		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		②		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
		③		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○
		④		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
⑤	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○			

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

〔医学部における注意事項〕

- ア 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- イ 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ウ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- エ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- オ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- カ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- キ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

〔理工学部〕

教科・科目			受験を要する教科・科目名																														
			国語		地理歴史				公民			数学					理科					外国語											
学部・学科・コース	日程	パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
			理	生命科学科	生命科学コース 前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○
②	◎	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○
工	物質科学科	応用化学コース 材料理工コース 前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○
学	数理・電気電子情報学科	数理工学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース 前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○
部	システムデザイン工学科	機械工学コース 創造生産工学コース 土木環境工学コース 前期後期	①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
			②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

〔理工学部における注意事項〕

- ア 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校の専門教育を主とする学科（理数科を除く。）または総合学科の卒業（見込み）者ならびに文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- イ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ウ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- エ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- オ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

(6) 個別学力検査等の実施教科・科目等

【前期日程】

学部・学科・課程 専攻・コース		実 施 教 科 等		受験を要する 教科等		
		教科等	出 題 科 目 お よ び 範 囲 採 点 ・ 評 価 の 観 点 ， 基 準 等			
国際資源学部	資源政策コース	国 語	「国語総合」の近代以降の文章。(古文、漢文との融合問題を含むことがある。)	2教科		
		外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ(英語資格等の活用制度あり。32ページ参照)			
	資源地球科学コース	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B		3教科 [理科は、物理、 化学、生物、地学 から1科目選択]	
			理 科	(物理)		物理基礎・物理
				(化学)		化学基礎・化学
				(生物)		生物基礎・生物
(地学)	地学基礎・地学					
外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ(英語資格等の活用制度あり。32ページ参照)					
資源開発環境コース	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B		3教科 [理科は、物理、 化学、生物、地学 から1科目選択]		
		理 科	(物理)		物理基礎・物理	
			(化学)		化学基礎・化学	
			(生物)		生物基礎・生物	
(地学)	地学基礎・地学					
外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ(英語資格等の活用制度あり。32ページ参照)					
教育文化学部	教育実践コース	国 語	「国語総合」の近代以降の文章。(古文、漢文との融合問題を含むことがある。)	4教科等(実技検査を含む。)から1教科等選択		
		数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B			
		外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ			
	英語教育コース	実技検査	27ページ参照			
		国 語	「国語総合」の近代以降の文章。(古文、漢文との融合問題を含むことがある。)	2教科と面接		
	外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ(リスニングを含む)				
	理数教育コース	面 接	英語スピーキングテスト			
			数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B		
				理 科	(物理)	物理基礎・物理
					(化学)	化学基礎・化学
(生物)	生物基礎・生物					
(地学)	地学基礎・地学					
特別支援教育コース こども発達コース	国 語	「国語総合」の近代以降の文章。(古文、漢文との融合問題を含むことがある。)	3教科から2教科選択			
	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B				
地域文化学科	外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ				
	国 語	「国語総合」の近代以降の文章。(古文、漢文との融合問題を含むことがある。)	3教科から2教科選択			
	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B				
外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ					
医学部	医 学 科	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B	2教科と面接		
		外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ			
	面 接	医師としての適性、即ちコミュニケーション能力・科学的思考・論理的思考、医師としての倫理性、社会への関心度、積極性・意欲・将来性等について評価します。				
保健学科	看 護 学 専 攻 理 学 療 法 学 専 攻 作 業 療 法 学 専 攻	外国語(英語)	コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ	1教科と面接		
		面 接	人の健康・生活に対する関心や理解、学習意欲と目的意識、他者への共感とコミュニケーション能力、協調性などをみます。			
理工学部	生命科学科 生命科学コース 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B		2教科 [理科は、物理、 化学、生物から 1科目選択]	
			理 科	(物理)		物理基礎・物理
				(化学)		化学基礎・化学
				(生物)		生物基礎・生物
	物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 創造生産工学コース 土木環境工学コース	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B		2教科 [理科は、物理、 化学から1科目 選択]	
			理 科	(物理)		物理基礎・物理
(化学)	化学基礎・化学					

注1) 数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの出題範囲は、高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

注2) 理工学部の前期 a、前期 b における試験問題は同一のものです。

次に掲げる【音楽】、【美術】または【体育】のうちから、いずれか1教科を選択して受験してください。

【音楽】

《内容》

次の①、②を受験してください。

①共通課題

コールユーブンゲン No. 30～No. 59の中から当日1曲を指定します。

②選択課題・・・次の1), 2), 3)のうちから1つを選択して受験してください。

1) 次のア), イ)の演奏

ア) ピアノ・・・任意の楽曲（暗譜，繰り返しなし）

イ) 声 楽・・・コンコーネ50番のNo. 16～No. 20の中から，当日1曲指定します。
（母音唱，高声，中声用いずれも可）

2) 次のア), イ)の演奏

ア) 声 楽（以下の4曲から1曲を選び，原語および暗譜で演奏）

a. 出船 杉山長谷夫作曲 ト短調（2番まで歌唱）

b. むこうむこう 中田喜直作曲 ヘ長調（2番まで歌唱）

c. Sebben, crudele A. カルダーラ作曲 ニ短調

d. Caro mio ben G. ジョルダニ作曲 変ホ長調

※ 伴奏は大学教員が担当します。伴奏譜は大学で用意します。

イ) ピアノ・・・ツェルニー40番練習曲から任意の1曲（暗譜，繰り返しなし）

3) 次のア), イ)の演奏

ア) 管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうちから1つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏

※ 独奏パート譜（楽器名を記載し，前期日程と明記したもの）を出願時に提出してください。

※ 使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。

ただし，マリンバ（Cスケール，4オクターヴ）は大学で用意します。

管楽器・・・フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ

弦楽器・・・ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス

打楽器・・・マリンバ

和楽器・・・三味線，箏，尺八

イ) ピアノ・・・ツェルニー40番練習曲から任意の1曲（暗譜，繰り返しなし）

《採点・評価の基準》

技術力，表現力を中心に採点・評価します。

【美術】

《内容》

実技の内容：静物描写（3時間）

※出願時に，次の①から③の表現方法の中からいずれかを選択した上で受験してください。

①鉛筆 ②木炭 ③水彩

実技検査に必要なもの：上記①から③に応じて，当日持参してください。

「①鉛筆」の場合：鉛筆，消しゴム

「②木炭」の場合：木炭，練り消しゴムやパンなど

「③水彩」の場合：水彩用具一式，鉛筆，消しゴム

《採点・評価の基準》

造形能力，表現能力，課題解決能力を中心に採点・評価します。

【体育】

《内容》

次の運動種目①から⑩のうちから1種目を選択して受験してください。

運動種目 ①陸上競技（競走，跳躍，または投てき） ②器械運動（跳び箱運動およびマット運動）

③バレーボール ④バスケットボール ⑤サッカー ⑥ハンドボール ⑦卓球 ⑧柔道

⑨ダンス ⑩基礎運動能力（シャトルラン，反復横とび，および握力）

注1) ①から⑦および⑨，⑩の運動種目を選択する者は，体育館用シューズを持参してください。

⑦卓球を選択する者は，ラケットを持参してください。

⑧柔道を選択する者は，柔道衣を持参してください。

注2) 出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）

調書には，調書に記載した各種大会出場等における成績（順位，タイムなど）などを証明する資料を添付すること。（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）

※証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判としてください。）

《採点・評価の基準》

運動能力，技術力を中心に採点・評価します。

【後期日程】

学部・学科・課程 専攻・コース			実 施 教 科 等		受験を要する 教 科 等
			教科等	出 題 科 目 お よ び 範 囲 採 点 ・ 評 価 の 観 点 , 基 準 等	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	面接	世界史, 日本史, 地理から受験生が選択する1科目についての基礎的な試問を含む面接を通じて, 資源学への関心度, 勉学意欲, 積極性および考察力等をみます。	
		資源地球科学コース	面接	物理, 化学, 地学から受験生が選択する1科目についての基礎的な試問を含む面接を通じて, 資源学への関心度, 勉学意欲, 積極性および考察力等をみます。	
		資源開発環境コース	面接	物理, 化学から受験生が選択する1科目についての基礎的な試問を含む面接を通じて, 資源学への関心度, 勉学意欲, 積極性および考察力等をみます。	
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	実技検査	29ページ参照	実技検査 または 小論文
			小論文	教員の資質形成の基礎となる読解力, 理論的思考能力, 個性的な発想力, 文章表現力をみます。	
		英語教育コース	小論文	英語教員の資質形成の基礎となる論理的思考能力および英語運用能力を英語によるライティングテストを通してみます。	小論文 および 面接
			面接	英語教育に対する意欲, 適性および英語運用能力を英語および日本語による面接を通してみます。	
		理教教育コース	面接	教員志望の動機および数学や理科についての学習意欲, 適性をみます。	
		特別支援教育コース	小論文	教育や福祉, 障害に関する基礎的なテーマについて, 論理構成力, 独創性, 文章表現力をみます。	小論文 および 面接
面接	障害のある人に対する理解や関心, 特別支援教育を学ぶ目的意識や意欲をみます。				
こども発達コース	記述問題	現代の文化・社会や教育・保育に関する資料を素材にして設問し, 論述させ, 文章や図表の理解力, 思考力および表現力をみます。	記述問題 および 面接		
	面接	教育・保育や心理・発達に関する試問を含む面接を通して, 目的意識, 学習意欲, 思考力および表現力をみます。			
地域文化学科	小論文	社会や文化に関する課題文に提起されている問題点を的確に読み取り, 高等学校等までで学んだ基礎知識に基づいてその問題点を考察し, 自分の見解を論理的かつ説得力をもって文章化する能力をみます。			
医学部	医学科	小論文	社会・文化・自然科学・医療等に関する日本語および英語の文章を素材にしていくつかの設問をし, それに対して論述させ, 理解力・思考力・表現力等をみます。	小論文 および 面接	
		面接	医師としての適性, 即ちコミュニケーション能力・科学的思考・論理的思考, 医師としての倫理性, 社会への関心度, 積極性・意欲・将来性等について評価します。		
	保健学科	看護学専攻 理学療法専攻 作業療法専攻	小論文 面接	医療技術者としての適性と資質を判断するため, 思考力, 洞察力, 表現力などをみます。 人の健康・生活に対する関心や理解, 学習意欲と目的意識, 他者への共感とコミュニケーション能力, 協調性などをみます。	小論文 および 面接
理工学部	生命科学	生命科学コース	面接	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から受験生が選択する1科目について基礎的な試問を含む面接を行い, 「関心・意欲・態度」, 「表現力」, 「知識・教養」, 「思考力・判断力」, 「協働性」を評価します。 (個別面接または集団面接)	
		物質科学 材料工学コース	面接	「関心・意欲・態度」, 「表現力」, 「知識・教養」, 「思考力・判断力」, 「協働性」を評価します。(個別面接または集団面接)	
	数理・電気電子情報学科	数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース	面接	「関心・意欲・態度」, 「表現力」, 「知識・教養」, 「思考力・判断力」, 「協働性」を評価します。(個別面接または集団面接)	
		システムデザイン 土木環境工学コース	面接	「関心・意欲・態度」, 「表現力」, 「知識・教養」, 「思考力・判断力」, 「協働性」を評価します。(個別面接または集団面接)	

注) 国際資源学部の面接における理科の試問は, 物理(物理基礎・物理), 化学(化学基礎・化学), 地学(地学基礎・地学)からの出題とします。

次に掲げる【音楽】，【美術】または【体育】のうちから、いずれか1教科を選択して受験してください。

【音楽】

《内容》

次の①，②を受験してください。

①共通課題

コールユーブンゲン No. 30～No. 59の中から当日1曲を指定します。

②選択課題・・・次の1)，2)，3)のうちから1つを選択して受験してください。

1) 次のア)，イ)の演奏

ア) ピアノ・・・任意の楽曲（暗譜，繰り返しなし）

イ) 声 楽・・・コンコーネ50番のNo. 16～No. 20の中から，当日1曲指定します。
（母音唱，高声，中声用いずれも可）

2) 次のア)，イ)の演奏

ア) 声 楽（以下の4曲から1曲を選び，原語および暗譜で演奏）

- a. 出船 杉山長谷夫作曲 ト短調（2番まで歌唱）
- b. むこうむこう 中田喜直作曲 へ長調（2番まで歌唱）
- c. Sebben, crudele A. カルダーラ作曲 ニ短調
- d. Caro mio ben G. ジョルダニ作曲 変ホ長調

※ 伴奏は大学教員が担当します。伴奏譜は大学で用意します。

イ) ピアノ・・・ツェルニー40番練習曲から任意の1曲（暗譜，繰り返しなし）

3) 次のア)，イ)の演奏

ア) 管楽器，弦楽器，打楽器，和楽器のうちから1つの楽器を選び，任意の独奏曲を暗譜，無伴奏で演奏

※ 独奏パート譜（楽器名を記載し，後期日程と明記したもの）を出願時に提出してください。

※ 使用する楽器は次に示すものとし，各自持参してください。

ただし，マリンバ（Cスケール，4オクターヴ）は大学で用意します。

管楽器・・・フルート，オーボエ，クラリネット，サクソフォーン，ファゴット，ホルン，
トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，テューバ

弦楽器・・・ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス

打楽器・・・マリンバ

和楽器・・・三味線，箏，尺八

イ) ピアノ・・・ツェルニー40番練習曲から任意の1曲（暗譜，繰り返しなし）

《採点・評価の基準》

技術力，表現力を中心に採点・評価します。

【美術】

《内容》

実技の内容：静物描写（3時間）

※出願時に，次の①から③の表現方法の中からいずれかを選択した上で受験してください。

①鉛筆 ②木炭 ③水彩

実技検査に必要なもの：上記①から③に応じて，当日持参してください。

「①鉛筆」の場合：鉛筆，消しゴム

「②木炭」の場合：木炭，練り消しゴムやパンなど

「③水彩」の場合：水彩用具一式，鉛筆，消しゴム

《採点・評価の基準》

造形能力，表現能力，課題解決能力を中心に採点・評価します。

【体育】

《内容》

次の運動種目①から⑧のうちから1種目を選択して受験してください。

運動種目 ①陸上競技（競走，跳躍，または投てき） ②バレーボール ③バスケットボール
④サッカー ⑤ハンドボール ⑥卓球 ⑦柔道 ⑧ダンス

注1) ①から⑥および⑧の運動種目を選択する者は，体育館用シューズを持参してください。

⑥卓球を選択する者は，ラケットを持参してください。

⑦柔道を選択する者は，柔道衣を持参してください。

注2) 出願書類と同時に提出するもの：スポーツ活動の調書（本学指定の様式）

調書には，調書に記載した各種大会出場等における成績（順位，タイムなど）などを証明する資料を添付すること。（記載事項がない場合も調書は必ず提出してください。）

※証明する資料とは，大会プログラム，メンバー表，賞状，認定証，ランキング表，新聞や専門雑誌の切り抜きなどです。（いずれもコピーにて可。資料は可能な限りA4判としてください。）

《採点・評価の基準》

運動能力，技術力を中心に採点・評価します。

(7) 大学入試センター試験および個別学力検査等の配点

【前期日程】

学部・学科・課程等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	小論文	面接	合計		
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	センター試験 200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)		200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)				900	1400	
		個別学力検査	250					250				500		
	資源地球科学コース 資源開発環境コース	センター試験	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)		200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)				850	1300	
		個別学力検査				200	150	100				450		
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	センター試験 200×8/9	※100×8/9 ※100×8/9		※100×8/9 ※100×8/9	※100×8/9 ※100×8/9	200×8/9				800	1000	
		個別学力検査	#200			#200		#200	#200			200		
		英語教育コース	センター試験	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3		※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	1000
			個別学力検査	100					250 〔筆記 200 リスニング 50〕		50		400	
	理数教育コース	センター試験	200×7/9	100×7/9		200×7/9	200×7/9	200×7/9				700	1000	
		個別学力検査				#300	#300					300		
特別支援教育コース こども発達コース	センター試験	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3		※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	1000		
	個別学力検査	#200			#200		#200				400			
地域文化学科		センター試験	200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3		※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3				600	1000	
個別学力検査		#200			#200		#200				400			
医学部	医学科		センター試験 100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)		100 (100×0.5×2)	200 (100×1.0×2)	100 (200×0.5×1)				550	950	
	個別学力検査					100		100		200		400		
	保健学科	看護学専攻	センター試験 160 (200×0.8×1)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)		160 (100×0.8×2)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (200×0.8×1)				720	920	
		個別学力検査						100		100		200		
理学療法専攻 作業療法専攻	センター試験	140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)		140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)				630	1030		
	個別学力検査						200		200		400			
理工学部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース	センター試験	100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)		200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)				750	1150	
		個別学力検査				250	150				400			
	数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科	センター試験	25 (200×0.125×1)	25 (100×0.25×1)		100 (100×0.5×2)	100 (100×0.5×2)	100 (200×0.5×1)				350	1150	
		個別学力検査				500	300				800			

注1: センター試験欄の()内は、大学入試センター試験の素点、傾斜率および科目数を示します。(素点×傾斜率×科目数)

注2: 大学入試センター試験の理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。

注3: 大学入試センター試験の外国語で「英語」を選択した場合は、「筆記」と「リスニング」の配点比率を4:1とします。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験(200点満点)の成績を、素点として利用します。

注4: 教育文化学部および医学部保健学科のセンター試験欄の※印は、このうちから必要科目を選択するものです。

注5: 教育文化学部学校教育課程教育実践コースおよび理数教育コースの個別学力検査欄の#印は、1科目等を選択するものです。

注6: 教育文化学部学校教育課程特別支援教育コースおよびこども発達コースならびに地域文化学科の個別学力検査欄の#印は、2教科を選択するものです。

注7: 理工学部の前期 a、前期 b における個別学力検査の試験問題は、同一のものです。

【後期日程】

学部・学科・課程等		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技検査	小論文	面接	合計			
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	センター試験 200 (200×1.0×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	100 (100×1.0×1)	200 (200×1.0×1)					900	1200		
		個別学力検査									300	300			
	資源地球科学コース 資源開発環境コース	センター試験	200 (200×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)						850	1050	
		個別学力検査									200	200			
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	センター試験 200×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	※100×7/9 ※100×7/9	200×7/9					700	1000	
		個別学力検査							#300	#300			300		
		英語教育コース	センター試験 200 (200×1.0×1)	100 (100×1.0×1)	50 (100×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	200 (200×1.0×1)							600	1000
		個別学力検査								200	200		400		
		理数教育コース	センター試験 200×8/13	100×8/13	(200×2)×8/13	(200×2)×8/13	200×8/13							800	1000
	個別学力検査									200	200				
特別支援教育コース	センター試験 200×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	200×5/9						500	1000		
個別学力検査								250	250		500				
こども発達コース	センター試験 200×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	※100×5/9 ※100×5/9	200×5/9						500	1000		
個別学力検査								250 〔記述〕	250		500				
地域文化学科	センター試験 200×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	※100×2/3 ※100×2/3	200×2/3						600	900		
個別学力検査								300			300				
医学部	医学科	センター試験 150 (200×0.75×1)	50 (100×0.5×1)	150 (100×0.75×2)	200 (100×1.0×2)	150 (200×0.75×1)						700	1000		
		個別学力検査							100	200		300			
	保健学科	看護学専攻	センター試験 160 (200×0.8×1)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (100×0.8×2)	※80 (100×0.8×1) ※80 (100×0.8×1)	160 (200×0.8×1)						720	920	
		個別学力検査							100	100		200			
理学療法専攻 作業療法専攻	センター試験 140 (200×0.7×1)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (100×0.7×2)	※70 (100×0.7×1) ※70 (100×0.7×1)	140 (200×0.7×1)							630	1030		
	個別学力検査							200	200		400				
理工学部	生命科学科 生命科学コース 物質科学科 応用化学コース 材料理工学コース 数理・電気電子情報学科 数理科学コース 電気電子工学コース 人間情報工学コース システムデザイン工学科 機械工学コース 創造生産工学コース 土木環境工学コース	センター試験 100 (200×0.5×1)	50 (100×0.5×1)	200 (100×1.0×2)	200 (100×1.0×2)	200 (200×1.0×1)						750	950		
	個別学力検査									200	200				

注1:センター試験欄の()内は、大学入試センター試験の素点、傾斜率および科目数を示します。(素点×傾斜率×科目数)

注2:大学入試センター試験の理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。

注3:大学入試センター試験の外国語で「英語」を選択した場合は、「筆記」と「リスニング」の配点比率を4:1とします。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験(200点満点)の成績を、素点として利用します。

注4:教育文化学部および医学部保健学科のセンター試験欄の※印は、このうちから必要科目を選択するものです。

注5:教育文化学部学校教育課程教育実践コースの個別学力検査欄の#印は、1科目等を選択するものです。

注6:教育文化学部学校教育課程こども発達コースの小論文欄は、記述問題の配点を示します。

(8) 英語資格等の活用

国際資源学部では、次の①から⑤のいずれかの要件を満たしている者は、個別学力検査の「英語」科目を免除し、満点と換算して合否判定します。「英語」科目免除の可否については、受験票発送時に通知します。

英語資格等	スコア等
①TOEFL iBT	61点以上
②TOEFL ITP	500点以上
③TOEIC L&R	730点以上
④IELTS	6.0以上
⑤英検	準1級以上

注)平成29年(2017年)1月以降に受験したものを対象とします。当該スコア等を証明する書類を出願書類と同時に提出してください。(38ページ<該当者が提出するもの>⑧参照)

(9) 合格者の決定

学部等	試験日程	合格者の決定方法																								
国際資源学部	前期日程 後期日程	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入試センター試験と個別学力検査等を総合して合格者を決めます。 2 第2志望は、第1志望のコースが募集人員を充足し、かつ第2志望のコースがまだ募集人員を充足しない場合においてのみ、合格者の対象となります。 3 総合点が同点の場合には、同順位として取り扱います。 																								
教育学部	前期日程	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入試センター試験と個別学力検査等を総合的に判断し合格者を決めます。ただし、大学入試センター試験の合格判定に用いる科目と個別学力検査等に無得点の科目がある場合は、合計点にかかわらず合格者としません。なお、総合点が同点の場合には、同順位として取り扱います。 2 次の課程では、個別学力検査のうちの指定科目の得点が基準点に満たない者は、合計点にかかわらず合格者としません。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>課程・コース</th> <th>指定科目(基準点:総点の4割)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校教育課程・教育実践コース</td> <td>筆記試験(80点), 実技検査(80点)</td> </tr> </tbody> </table> 3 学校教育課程教育実践コースでの合格予定者数は、個別学力検査等の選択科目ごとに、おおむね次のとおりとします。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>受験科目</th> <th>合格予定者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語, 英語または数学</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(音楽)</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(美術)</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(体育)</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> 	課程・コース	指定科目(基準点:総点の4割)	学校教育課程・教育実践コース	筆記試験(80点), 実技検査(80点)	受験科目	合格予定者数	国語, 英語または数学	15人	実技検査(音楽)	2人	実技検査(美術)	2人	実技検査(体育)	5人										
	課程・コース	指定科目(基準点:総点の4割)																								
学校教育課程・教育実践コース	筆記試験(80点), 実技検査(80点)																									
受験科目	合格予定者数																									
国語, 英語または数学	15人																									
実技検査(音楽)	2人																									
実技検査(美術)	2人																									
実技検査(体育)	5人																									
後期日程	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入試センター試験と個別学力検査等を総合的に判断し合格者を決めます。ただし、大学入試センター試験の合格判定に用いる科目と個別学力検査等に無得点の科目がある場合は、合計点にかかわらず合格者としません。なお、総合点が同点の場合には、同順位として取り扱います。 2 次の学科・課程では、個別学力検査等のうちの指定科目の得点が基準点に満たない者は、合計点にかかわらず合格者としません。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>学科・課程等</th> <th>指定科目(基準点:総点の4割)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">学校教育課程</td> <td>教育実践コース</td> <td>実技検査(120点), 小論文(120点)</td> </tr> <tr> <td>英語教育コース</td> <td>小論文(80点), 面接(80点)</td> </tr> <tr> <td>理数教育コース</td> <td>面接(80点)</td> </tr> <tr> <td>特別支援教育コース</td> <td>小論文(100点), 面接(100点)</td> </tr> <tr> <td>こども発達コース</td> <td>記述問題(100点), 面接(100点)</td> </tr> <tr> <td>地域文化学科</td> <td>小論文(120点)</td> </tr> </tbody> </table> 3 学校教育課程教育実践コースでの合格予定者数は、個別学力検査等の選択科目ごとに、おおむね次のとおりとします。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>受験科目</th> <th>合格予定者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小論文</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(音楽)</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(美術)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>実技検査(体育)</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> 	学科・課程等	指定科目(基準点:総点の4割)	学校教育課程	教育実践コース	実技検査(120点), 小論文(120点)	英語教育コース	小論文(80点), 面接(80点)	理数教育コース	面接(80点)	特別支援教育コース	小論文(100点), 面接(100点)	こども発達コース	記述問題(100点), 面接(100点)	地域文化学科	小論文(120点)	受験科目	合格予定者数	小論文	3人	実技検査(音楽)	2人	実技検査(美術)	1人	実技検査(体育)	2人
学科・課程等	指定科目(基準点:総点の4割)																									
学校教育課程	教育実践コース	実技検査(120点), 小論文(120点)																								
	英語教育コース	小論文(80点), 面接(80点)																								
	理数教育コース	面接(80点)																								
	特別支援教育コース	小論文(100点), 面接(100点)																								
	こども発達コース	記述問題(100点), 面接(100点)																								
地域文化学科	小論文(120点)																									
受験科目	合格予定者数																									
小論文	3人																									
実技検査(音楽)	2人																									
実技検査(美術)	1人																									
実技検査(体育)	2人																									
医学部	前期日程 後期日程	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入試センター試験と個別学力検査等を総合的に判断し合格者を決めます。 2 面接において面接員が「不可」の判定をした場合は、合格者としません。 3 総合点が同点の場合には、医師としてより適性があると思われる者を上位とします。 																								
	保健学科	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入試センター試験と個別学力検査等を総合し合格者を決めます。 2 面接において面接員が「不可」の判定をした場合は、合格者としません。 3 総合点が同点の場合には、個別学力検査等の成績上位者を優先します。 																								
理工学部	前期日程 後期日程	<ol style="list-style-type: none"> 1 大学入試センター試験と個別学力検査等の総合点に基づいて合格者を決めます。 2 第2志望は、第1志望の学科が募集人員を充足し、かつ第2志望の学科がまだ募集人員を充足していない場合においてのみ、合格者の対象となります。 3 前期日程においては、前期a, 前期bそれぞれの方式で合格者を決めます。 																								

3 個別学力検査等の日程および試験場

(1) 日程

【前期日程】

学部等		期 日	教科・科目等	時 間	
国際資源学部		平成31年2月25日(月)	英 語	9:00 ~ 10:00	60分
			数 学	10:50 ~ 12:20	90分
			国 語	13:20 ~ 14:20	60分
			理 科	13:20 ~ 14:20	60分
教育文化学部		平成31年2月25日(月)	英 語	9:00 ~ 10:00	60分
			リスニング (英語教育コースのみ)	10:50 ~ 11:35	45分
			数 学	10:50 ~ 12:20	90分
			国 語	13:20 ~ 14:20	60分
			理 科	13:20 ~ 14:20	60分
			面 接 (英語スピーキングテスト)	14:50 ~ 18:00	
			実技検査(音楽)	9:00 ~ 12:00(集合 8:30)	
			実技検査(美術)		
実技検査(体育)	9:00 ~ 16:00(集合 8:30)				
医 学 部	医 学 科	平成31年2月25日(月)	英 語	9:00 ~ 10:00	60分
			数 学	10:50 ~ 12:20	90分
			面接オリエンテーション	12:30 ~ 12:50	20分
	保健学科	平成31年2月25日(月)	面 接	9:00 ~ 18:00	
			英 語	9:00 ~ 10:00	60分
			面 接	10:30 ~ 17:00	
理 工 学 部		平成31年2月25日(月)	数 学	10:50 ~ 12:20	90分
			理 科	13:20 ~ 14:20	60分

注) 面接および実技検査の終了時刻は、受験者数により変わる場合があります。

【後期日程】

学部等		期 日	教科・科目等	時 間	
国際資源学部		平成31年3月12日(火)	面 接	9:00 ~ 17:00(集合 8:30)	
教育文化学部		平成31年3月12日(火)	小論文, 記述問題	9:00 ~ 10:00	60分
			面 接	10:30 ~ 17:00	
			面 接 (理数教育コース)	9:00 ~ 17:00(集合 8:30)	
			実技検査(音楽)	9:00 ~ 12:00(集合 8:30)	
			実技検査(美術)		
			実技検査(体育)	9:00 ~ 16:00(集合 8:30)	
医 学 部	医 学 科	平成31年3月12日(火)	小 論 文	9:00 ~ 11:00	120分
			面 接	11:30 ~ 18:00	
	保健学科	平成31年3月12日(火)	小 論 文	9:00 ~ 10:30	90分
			面 接	11:00 ~ 17:00	
理 工 学 部		平成31年3月12日(火)	面 接	9:00 ~ 17:00(集合 8:45)	

注) 面接および実技検査の終了時刻は、受験者数により変わる場合があります。

(2) 試験場

学部等		日程	試験場
国際資源学部		前期日程	国際資源学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 国際資源学部東京試験場（収容人員80名） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 国際資源学部名古屋試験場（収容人員50名） 名古屋ルーセントタワー 16階：愛知県名古屋市西区牛島町6-1 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントタワー
		後期日程	国際資源学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号
教育文化学部		前期日程	教育文化学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 教育文化学部東京試験場（収容人員80名） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 （個別学力検査等で実技検査を選択した者および英語教育コースの志望者は） 秋田試験場のみとなります。
		後期日程	教育文化学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号
医学部	医学科	前期日程	医学部秋田試験場 秋田大学本道キャンパス：秋田市本道一丁目1の1
		後期日程	
	保健学科	前期日程	
		後期日程	
理工学部		前期日程	理工学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号 理工学部東京試験場（収容人員200名） タイム24ビル：東京都江東区青海2-4-32 理工学部名古屋試験場（収容人員150名） 名古屋ルーセントタワー 16階：愛知県名古屋市西区牛島町6-1 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントタワー
		後期日程	理工学部秋田試験場 秋田大学手形キャンパス：秋田市手形学園町1番1号

※ III その他の9 試験場の案内（50～52ページ）を参照ください。

(3) 受験上の注意事項

- ① 試験当日は、「平成31年度秋田大学受験票」および「平成31年度大学入試センター試験受験票」の2つの受験票を忘れずに必ず持参してください。

なお、試験室棟に入る際には、両方の受験票を係員に提示してください。
また、試験時間中は両方の受験票を机の上に置いてください。
- ② 受験者は、試験開始時刻の15分前までに指定された試験室に入ってください。ただし、実技検査で受験する者は、試験開始時刻の30分前までに集合することとなっていますので注意してください。

なお、試験室棟へは、国際資源学部、教育文化学部および医学部の受験者は前期日程・後期日程とも8時20分から、理工学部の受験者は、前期日程は9時50分から、後期日程は8時20分から入ることができます。
- ③ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後10分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ④ 試験開始後、試験終了までは試験室からの退室はできません。
- ⑤ 試験時間中は、受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、定規、時計（計時機能だけと判別が容易なもので、秒針音のするもの・大型のもの・アラームが鳴るものを除く。）、眼鏡、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけを取り出したもの）以外のものは、机の上に置くことはできません。
- ⑥ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類を持参した場合は、試験室棟に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

試験時間中、かばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていた場合は、不正行為となる場合があります。
- ⑦ 不正行為を行った場合は以後の受験は認められず、個別学力検査等の受験は失格となります。
- ⑧ 試験場・試験室において、他の受験者の迷惑になる行為は行わないでください。
- ⑨ 試験場の下見は、試験前日の13時から17時までの間に行ってください。（名古屋試験場は15時から17時まで）

なお、下見は試験室棟入口までとし、**試験室棟には入れません。**
- ⑩ 試験前日および試験当日は、受験者および付添者の車両による入構はできませんので、公共交通機関を利用願います。
- ⑪ 試験当日、秋田試験場には、受験者および付添者の控室を設けています。

（東京試験場および名古屋試験場には控室はありません。）
- ⑫ 受験者（特に遠隔地からの者）は、**積雪等による交通機関の乱れを考慮し**、前日までに秋田市内等の試験場所在地に到着する等ゆとりをもった日程を組むほか、衣類・履物等にも留意してください。
- ⑬ 試験場周辺の路上および最寄りの駅等で、秋田大学を名乗り「合否メール」等の受付の呼び込みをしている場合がありますが、これは、本学とは一切関係がありませんので十分注意してください。
- ⑭ **大学入試センター試験受験票は、入学手続の際に必要**となりますので、紛失しないよう注意してください。

4 出願手続

(1) 出願期間

前期日程・後期日程ともに、平成31年1月28日(月)から2月6日(水)まで(必着)

(2) 出願方法

出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として郵送により提出してください。

送付先：〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 秋田大学入試課
「速達簡易書留」とし、平成31年2月6日(水)必着とします。

なお、持参の場合は、入試課窓口で、9時から17時まで受付します。
ただし、土曜日・日曜日は受付を行いません。

注) 高等学校等で2人以上をとりまとめて提出する場合は、出願者ごとに「出願書類〇名分」と朱書きしてください。

(3) 出願書類等

<全員が提出するもの>

書 類 等	摘 要
① 入 学 志 願 票	氏名は楷書で正確に記入し、ふりがなをつけてください。 生年月日を記入し、男・女のいずれかを○で囲んでください。
出 願 資 格	出願資格について記入してください。
志 望 先	志願学部および志望学科・課程・専攻・コースを記入してください。 理工学部の志願者は、志望学科まで記入し、コースは記入しないでください。
第 2 志 望 (国際資源学部 および理工学部)	第2志望がある場合、国際資源学部は志望学科およびコースを記入してください。 理工学部は志望学科まで記入し、コースは記入しないでください。 (21ページの「(4) 第2志望」を参照)
選択受験科目	【前期日程】 国際資源学部、教育文化学部および理工学部の志願者は、選択する受験科目を○で囲んでください。なお、教育文化学部学校教育課程教育実践コースの志望者で、実技検査を受験する者はその科目も○で囲んでください。 【後期日程】 教育文化学部学校教育課程教育実践コースの志望者は、実技検査または小論文のいずれかを○で囲み、実技検査を受験する者はその科目を○で囲んでください。
選択受験方式	【前期日程】のみ 理工学部志願者 は、選択する受験方式を○で囲んでください。
希望受験地	【前期日程】のみ 国際資源学部志願者 は、秋田試験場、東京試験場および名古屋試験場の中から、希望する受験地を第2希望まで記入してください。なお、東京試験場(収容人員80名)および名古屋試験場(収容人員50名)の希望者(受付順)が、それぞれの収容人員を超えた場合、第2希望の受験地または秋田試験場で受験することになります。また、記入のない場合は、受験地を秋田試験場として取り扱います。 教育文化学部志願者 は、秋田試験場または東京試験場から希望する受験地を記入してください。東京試験場(収容人員80名)の希望者(受付順)が収容人員を超えた場合、超過した人員は秋田試験場で受験することになります。また、記入のない場合は、受験地を秋田試験場として取り扱います。なお、 実技検査選択者 および 英語教育コース志望者 は、秋田試験場のみとなります。 理工学部志願者 は、秋田試験場、東京試験場および名古屋試験場の中から、希望する受験地を第2希望まで記入してください。なお、東京試験場(収容人員200名)および名古屋試験場(収容人員150名)の希望者(受付順)が、それぞれの収容人員を超えた場合、第2希望の受験地または秋田試験場で受験することになります。また、記入のない場合は、受験地を秋田試験場として取り扱います。

書類等	摘要
① 入学志願票 英語資格等の証明 <small>(国際資源学部志願者のうち該当者のみ記入)</small> 連絡先 大学入試センター試験受験科目届 裏面 <small>(医学部医学科のみ記入)</small>	<p>【前期日程】のみ 国際資源学部志願者のうち32ページ(8)に記載の英語資格等のスコア等により個別学力検査「英語」の免除を希望する場合は、提出する証明書の資格名を○で囲んでください。</p> <p>本人および保護者の郵便番号、住所および電話番号を記入してください。なお、電話が呼出しとなる場合は、その氏名等を記入してください。 保護者の連絡先が本人と同じ場合は、記入しなくてもかまいません。</p> <p>大学入試センター試験で受験したすべての科目に○印をつけてください。 注) この欄は、志願者本人が大学入試センター試験の受験科目を確認するためのものです。</p> <p>医学部医学科志望者は、高等学校等卒業後の履歴を記入してください。</p>
②電算処理原票	<ul style="list-style-type: none"> ・成績請求票：出願する日食用（<input type="checkbox"/>前または<input type="checkbox"/>後）の「平成31センター試験成績請求票」を所定の欄に貼ってください。 ・記入事項：<input type="checkbox"/>内に、該当する記号を記入してください。なお、<input type="checkbox"/>内に数字が記入されている箇所は、記入不要です。
③受験票・写真票	<p>本学所定の用紙に所要事項を記入し、写真票に写真（4cm×3cmの大きさで、正面、上半身、無帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。</p> <p>なお、教育文化学部前期日程志願者および後期日程志願者（学校教育課程教育実践コース志望者のみ）は受験科目を、国際資源学部の前期日程志願者は理科の選択科目を○で囲んでください。理工学部の前期日程志願者は理科の選択科目および受験方式を○で囲んでください。</p>
④検定料 ・ 検定料収納証明書貼付台紙	<p>検定料は、17,000円です。同封している「入学検定料支払方法のご案内」を参照のうえ、平成31年1月15日(火)から出願前までに払い込んでください。払込手数料が別途必要です。なお、この期間外は払い込みができません。</p> <p>払い込みの際に受領する「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」を「検定料収納証明書貼付台紙」にしっかりと貼ってください。</p> <p>台紙には、氏名、志願学部等を記入してください。</p> <p>出願手続完了後、既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しません。 ただし、医学部医学科で2段階選抜を実施した場合の第1段階選抜の不合格者および出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者に対しては、検定料のうち13,000円を返還します。この場合、医学部医学科で2段階選抜を実施した場合の第1段階選抜の不合格者に対しては、第1段階選抜の結果とともに通知します。出願無資格者であることが判明した者に対しては、速やかに通知します。</p> <p>なお、検定料の振込後に出願しなかった場合も返還しますので、原則として平成31年2月7日(木)から平成31年2月13日(水)までの間に、秋田大学経理・調達課出納担当（電話 018-889-2234）へ申し出てください。</p>
⑤調査書	<p>所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したもの。なお、本学では㊿標示を求めておりませんので、㊿標示であってもAとして取り扱います。（出願年度発行のものを提出してください。）</p> <p>また、20ページに記載の「1 出願資格③」に該当する者にあつては、調査書に代えて出願資格を証明する書類および成績証明書（高等学校卒業程度認定試験合格者は、合格成績証明書）を提出してください。なお、一部の科目を高等学校等で修得している者は、<u>在学期間中の調査書または成績証明書も併せて提出してください。</u></p> <p>指導要録の保存期間の経過および廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書、および成績を証明できる書類（成績証明書、単位取得証明書、成績通信簿の写し（本人が保管している場合）等）その他志願者が提出できる書類をもってこれに代えます。</p>
⑥あて名票	<p>本学所定の用紙に、所要事項を記入してください。</p>
⑦受験票等送付用封筒	<p>本学所定の封筒にあて先を明記し、362円分の切手を必ず貼り付けてください。受験票の送付または医学部医学科の第1段階選抜実施結果の通知に使用します。</p>

< 該当者が提出するもの >

書類等	摘 要
⑧国際資源学部 英語資格等の証 明書類	<p>国際資源学部（前期日程）志願者のうち、英語の受験に換えて英語資格等により免除を希望する者は、以下①～④のうち32ページ(8)の要件を満たすことを証明する書類1つを提出してください。(コピー不可)</p> <p>①TOEFLスコアの提出方法 「Official Score Report」(公式スコア票)を、出願期間最終日までに本学に到着するようETS (Educational Testing Service) から直送する手続きを行ってください。直送する際に必要な秋田大学のDIコードは、「7519」です。</p> <p>②TOEICスコアの提出方法 「Official Score Certificate」(公式認定証)の原本を他の出願書類と一緒に提出してください。</p> <p>③IELTSスコアの提出方法 アカデミック・モジュールの「Test Report Form」(公式成績証明書)を、出願期間最終日までに本学に到着するようブリティッシュ・カウンシルから直送する手続きを行ってください。ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは認めません。</p> <p>④英検は、合格証明書の原本を他の出願書類と一緒に提出してください。</p> <p>※ <u>TOEFLのOfficial Score Report, IELTSのTest Report Formは発行までに時間がかかりますので、早めに手配してください。出願期間内に到着しなかった場合は、書類不備のため個別学力検査「英語」免除の申請を受け付けません。</u></p> <p>※ TOEICのOfficial Score Certificate, 英検の合格証明書は、確認後、受験票と共に返送します。返送時に証明書の折り曲げを避けたい方は、宛先を明記し、560円分(速達・特定記録)の切手を貼った返信用封筒(角形2号/240mm×332mm)を出願書類と一緒に送付してください。</p>
⑨教育文化学部 実技検査調書 【前期日程】	<p>教育文化学部学校教育課程教育実践コース（前期日程）志望者のうち、音楽、美術または体育の実技検査を受験する者は提出してください。</p>
⑩教育文化学部 実技検査調書 【後期日程】	<p>教育文化学部学校教育課程教育実践コース（後期日程）志望者のうち、音楽、美術または体育の実技検査を受験する者は提出してください。</p>
⑪教育文化学部 実技検査関係 資料	<p>教育文化学部学校教育課程教育実践コース（前期日程、後期日程）志望者のうち、実技検査を体育で受験する者は、スポーツ活動の調書に所要事項を記入し、記載内容を証明する資料と一括し、実技検査調書に添えて提出してください。 詳細は、27ページおよび29ページに記載の実技検査の内容を参照してください。</p>

(4) 出願にあたっての留意事項

- ① 平成31年度大学入試センター試験において、本学が指定する教科・科目を受験していない場合は、出願できませんので、十分確認のうえ出願してください。なお、**地理歴史・公民および理科の試験時間においては、解答する科目の順番により出願要件を満たさない場合があるので注意してください。**（22～25ページ参照）
- ② 国公立大学の推薦入試の合格者は、当該国公立大学が定める「推薦入試辞退手続」により入学辞退を許可された場合を除いて、本学の個別学力検査等を受験しても入学許可は得られません。
- ③ 国公立大学の前期日程試験に合格し、3月15日(金)までに入学手続を行った者は、本学の後期日程試験を受験しても、その合格者とはなりません。
- ④ 出願書類に不備がある場合には、これを受理しません。
- ⑤ 本学が受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。

(5) 受験票の送付について

本学では、提出された出願書類等を確認のうえ、受験票を送付します。2月15日(金)までに受験票が届かない場合は、必ず本学入試課まで問い合わせてください。

ただし、**医学部医学科志望者**に対しては、2段階選抜の関係から、**2月11日(月)**に受験票等を発送しますので、2月18日(月)までに第1段階選抜実施結果の通知がない場合は問い合わせてください。

5 配慮を必要とする入学志願者の事前相談

病気・負傷，身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下，「障害等」という。）により，受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は，出願に先立ち，下記様式に必要事項を記入の上，医師の診断書等を添えて，平成31年1月24日（木）までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により，受験上の配慮が必要となった場合には，速やかに相談してください。

また，障害等の程度によっては，事前の準備が必要となる場合がありますので，本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき，進路決定等により特別措置が不要となった場合には，その旨入試課までお知らせください。

なお，事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

電話018-889-2256

○様式ダウンロード先

秋田大学ホームページ (<http://www.akita-u.ac.jp/>) 「入試情報→特別措置について」で確認してください。

○様式（A4判）

受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者の事前相談書		
平成 年 月 日		
試験区分	推薦Ⅰ，推薦Ⅱ，前期日程，後期日程，その他（ ）	
志望学部等	学部	専攻 学科 課程 コース
氏名 (年齢)	(歳)	
連絡先	〒 - 電話 - -	
障害等の種類・程度		
※医師の診断書等障害の状況がわかるものを添付してください。		
受験上希望する配慮の内容		
修学上希望する配慮の内容		
※入学が確定した後，学生サポートルームから相談内容について連絡する場合があります。		
出身学校等で取られていた特別措置		
大学入試センター試験受験時の特別措置		
日常生活の状況		
出身学校等	学校名等	
	所在地および 電話番号	〒 - 電話 - -

6 合格者の発表

前期日程 平成31年 3月 7日(木) 13時(予定)

後期日程 平成31年 3月21日(木) 13時(予定)

秋田大学手形キャンパス内に合格者の受験番号を掲示するとともに、**合格者には合格通知書および入学関係書類等を送付**します。

なお、秋田大学ホームページ (<http://www.akita-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載します。ホームページへの掲載は、情報サービスの一環として行っておりますので、必ず本学掲示板または合格通知書で確認してください。

注) 電話による問い合わせには一切応じません。

7 入学手続

(1) 入学手続期間

前期日程 平成31年 3月14日(木) から 3月15日(金)まで (必着)

後期日程 平成31年 3月26日(火) から 3月27日(水)まで (必着)

(2) 入学手続方法

(3)に記載の所定の納付金を納付するとともに、入学手続関係書類を郵送「**速達簡易書留**」により送付してください。

前期日程は3月15日(金)、後期日程は3月27日(水)必着ですので、郵送期間を十分考慮して送付してください。(入学手続期間前に届いた書類は、期間中に受付を行います。)

なお、詳細については、合格者に送付する入学手続案内でお知らせします。

※特別な事情により持参する場合は、入学手続期間内の9時から17時まで秋田大学入試課窓口で受付します。

※入学手続期間前の定められた期間内に入学料の免除または徴収猶予の手続(45～46ページ参照)を行うか、入学手続期間最終日までに納付されていない場合は、入学手続が完了できませんのでご注意ください。

(3) 納付金

① 入学料 282,000円 (予定額)

② 授業料 前期分 267,900円 (年額 535,800円) (予定額)

注1) 上記納付金は予定額であり、入学前に入学料が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

2) 入学料および授業料(前期分)を本学所定の払込取扱票により、ゆうちょ銀行または郵便局の**窓口**で振り込んでください(振込手数料は負担願います)。ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。

3) 入学手続時に授業料(前期分)を納付できないときは、平成31年4月1日(月)から4月30日(火)までの間に納付してください。

4) 入学手続完了後、納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

5) 入学手続完了後、特別な事情により平成31年3月31日(日)までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により、所定の手続のうえ、当該授業料相当額を返還します。

6) 入学前1年以内において学資負担者が死亡するなどの理由により、入学料および授業料の納付が著しく困難である者を対象に、入学料および授業料の免除または徴収猶予制度があります。詳細については、45～46ページを参照してください。

(4) 提出書類等

振替払込受付証明書貼付台紙、大学入試センター試験の受験票、宣誓書等です。詳細は、合格者に送付する入学手続案内でお知らせします。

(5) 留意事項

- ① 合格者が所定の期日（前期日程は3月15日（金）、後期日程は3月27日（水））までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 本学に入学手続を完了した者は、その後、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことは認められません。
- ③ 他の国公立大学に入学手続を完了した者は、その後、これを取り消して本学に入学手続を行うことは認められません。
- ④ 国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うために、合否および入学手続等に関する個人情報（氏名および大学入試センター試験の受験番号に限る。）を、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に通知します。

8 追加合格

平成31年3月27日（水）において、入学手続完了者が入学定員に満たない場合は、次のとおり追加合格による欠員補充を行うことがあります。

(1) 合格通知

- ① 平成31年3月28日（木）から3月31日（日）までの間に、該当者に対して、入学志願票に記載の「連絡先」へ電話で連絡・確認のうえ、通知します。**本人が不在等のため連絡・確認ができなかった場合は、入学の意思がないものとして取り扱うことがありますので、この期間に外出する場合は家族など在宅者に連絡先を明らかにしておいてください。**
- ② 追加合格者は、本学への入学意思の有無を、本学が指定した日時までに指定した方法で回答してください。
- ③ 本学が指定した日時までに、入学の意思表示がない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ④ 本学への入学意思がある場合は、入学手続関係書類を交付します。

(2) 入学手続

- ① 入学手続期間
平成31年3月28日（木）以降、本学が指定した期日まで（必着）
- ② 入学手続場所
本学手形キャンパス内入試課で、入学手続関係書類および納付金を直接受付します。やむを得ず郵送する場合は、詳細について当該者にお知らせします。

(3) 納付金および提出書類等

納付金および提出書類等は、前ページに記載のとおりです。

(4) 留意事項

- ① 追加合格者が、本学が指定した期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 本学に入学手続を完了した者は、その後、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことは認められません。
- ③ 追加合格者が、本学に入学手続を完了した場合、他の国公立大学の第2次募集を受験しても入学許可は得られません。

(5) 欠員補充第2次募集

追加合格によっても、なお、募集人員に満たない場合には、欠員補充第2次募集を行うことがあります。実施する場合は、平成31年3月28日（木）以降、本学ホームページでお知らせします。

9 入試情報の提供および開示

(1) 出願状況

- ① 提供内容
募集単位(学科・課程・専攻・コース)別の志願者数・志願倍率
- ② 提供方法
本学ホームページおよびモバイルサイト
(本学ホームページおよびモバイルサイトについては、次ページの「(6)ホームページ」を参照してください。)
- ③ 提供時期
平成31年2月1日(金)から

(2) 合格者の入学試験データ

- ① 公表内容
募集単位(学科・課程・専攻・コース)別の合格者のセンター試験と個別学力検査等の総合点の最高点・最低点・平均点・標準偏差を公表します。ただし、個別学力検査等で課す科目等が複数ある場合は、センター試験、個別学力検査等それぞれの総点および総合点の最高点・最低点・平均点・標準偏差を公表します。
なお、合格者数が10名に満たない場合は公表しません。
- ② 公表方法
本学ホームページ
- ③ 公表時期
平成31年5月1日(水)から

(3) 模範解答例・出題意図等

- ① 公表する教科・科目等
前期日程 … 国語, 英語, 数学, 物理, 化学, 生物, 地学
- ② 公表方法
本学ホームページおよび窓口(入試課)での閲覧
付記: 報道機関, 高等学校, 予備校, 出版社等については, その要請に応じて提供します。
ただし, 著作権の関係から提供できない場合があります。
- ③ 公表時期
試験終了後準備が整い次第(閲覧の場合は, 土・日・祝日を除く8時30分から17時まで)

(4) 個人の試験成績等

入学試験受験者の個人成績を**合格者および不合格者本人に**, 次により開示します。

- ① 開示内容
得点
・大学入試センター試験(本学が課した教科・科目の傾斜配点後の得点)
・個別学力検査等(教科・科目等別の得点。ただし, 医学部の面接については, A, B, C等の段階評価)
順位等
A, B, C等のランク区分
調査書
「各教科・科目等の学習の記録」, 「各教科の評定平均値」および「学習成績概評」欄
- ② 申込期間
平成31年5月1日(水) ~ 平成31年6月28日(金)
(持参の場合の受付は, 土・日・祝日を除く, 8時30分から17時まで)
- ③ 申込者
受験者本人に限ります**(代理人は不可)**。

④ 申込方法

窓口への持参および郵送で受け付けます。

注意事項をよく読み、次の書類等により申し込んでください。

- ・ 本学の受験票
- ・ 入試成績開示申込書
- ・ 返信用の封筒

[注意事項]

- ・ 申し込みの際、本学の受験票が必要となります。開示を希望する場合は申込期間前に誤って廃棄しないよう注意してください。
- ・ 入試成績開示申込書は持参・郵送にかかわらず必ず**受験者本人が記入し**、持参する場合は**受験者本人が持参**してください。代理人による申し込みはできません。
- ・ 入試成績開示申込書は本学ホームページ (<http://www.akita-u.ac.jp/>) 「入試情報→成績開示について」からダウンロードしてください。
- ・ 返信用封筒は長形3号に限るものとし、おもて面に受験者の郵便番号・住所・氏名を明記し、402円分の切手を貼ってください。

申込窓口 秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 電話018-889-2256

⑤ 開示方法

申込みが受理されてから1ヶ月以内に、受験者本人あてに簡易書留郵便で送付します。

(5) その他入学試験に関する問い合わせ

出願その他入学試験に関して問い合わせる場合は、次によってください。

①問い合わせ方法

電話または郵便を利用してください。電話による場合は、平日(12月29日～1月3日を除く。)8時30分から17時までとし、必ず志願者本人が問い合わせてください。郵便による場合は、郵便番号・住所・氏名を明記し、所要額分の切手を貼った返信用封筒を同封してください。

②問い合わせ先

秋田大学入試課
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
電話 018-889-2256

(6) ホームページ

ホームページ等には、入試情報、学部・学科の案内、大学の概要等が載っています。

秋田大学ホームページ <http://www.akita-u.ac.jp/admission/>
モバイルサイト <http://daigaku.jc.jp/akita-u/>

秋田大学受験生
ポータルサイト
QRコード



Ⅲ その他

1 国際資源学部の入学志願者へ

国際資源学部では、3年次に全員が4週間程度の海外実習「海外資源フィールドワーク」(必修)を行います。費用の一部は大学が負担し、無理のない渡航計画を立てられるようサポートします。詳細については、入学後のオリエンテーションにおいて説明します。

2 教育文化学部の入学志願者へ

- (1) 学校教育課程教育実践コースに入学した者は、入学後の適切な時期に専門領域(教科等)を決定します。この決定は、入学試験の際に選択した受験科目にかかわらず、原則として本人の希望および入学後の学習状況に基づいて行います。

学校教育課程教育実践コースの専門領域(教科等)は、次のとおりです。

国語、数学、理科、社会、英語、家庭、音楽、美術、保健体育

- (2) 地域文化学科に入学した者は、入学後の適切な時期にコースを決定します。この決定は、入学試験の際に受験した科目にかかわらず、原則として本人の希望および入学後の状況等に基づいて行います。

地域文化学科のコースは、次のとおりです。

- 地域社会コース
- 国際文化コース
- 心理実践コース

3 理工学部入学志願者へ

一般入試(前期日程・後期日程)で入学した者は、入学した学科内のコースへの配属を、2年次進級の際に決定します。この決定は、入学試験の科目および成績等にかかわらず、原則として本人の希望および入学後の学業成績等に基づいて行います。

なお、生命科学科においては、生命科学コースへの配属に関してこれらは該当しません。

4 検定料免除について

災害救助法が適用される自然災害により被災された方々の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、検定料免除の特別措置を講じます。

検定料の免除を希望される方は、**出願前に必ず入試課までご連絡ください。**

* 秋田大学入試課 電話 018-889-2256

(1) 対象者

自然災害により災害救助法の適用を受けた地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- ① 学資負担者が所有する自己家屋の全壊、大規模半壊、半壊、流失の被害を受けた方(ただし、東日本大震災により被災した場合は、次の災害救助法適用地域において被災した志願者)

〔 岩手県、宮城県、福島県の全市町村
青森県、茨城県、栃木県、千葉県災害救助法適用市町村

- ② 学資負担者が災害により死亡または行方不明の方
③ 学資負担者の居住地が福島第一原子力発電所事故により、警戒区域または計画的避難区域等に指定された方

(2) 申請の方法

事前に本学入試課に連絡し、該当すると判断された方は、所定の申請書類を申請期限までに提出してください。提出の際には、封筒のおもて面に「検定料免除申請書在中」と朱書きし、返信用封筒(長形3号、82円切手貼付、住所・氏名記入)を同封してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「検定料」を払い込まないでください。

(3) 申請書類および証明書

- ① 申請書類
- ・「検定料免除申請書」(別紙様式)
本学ホームページ(<http://www.akita-u.ac.jp/>)「入試情報→検定料免除について」からダウンロードできます。
- ② 証明書
- ・「り災証明書」(上記(1)の①に該当する方)
 - ・「死亡または行方不明を証明する書類」(上記(1)の②に該当する方)
 - ・「被災証明書」(上記(1)の③に該当する方)

(4) 申請期限 平成31年1月21日(月)

(5) 許可または不許可の通知

- ① 許可された方には、出願受付期間前までに「決定通知書」を送付いたします。出願書類等の提出にあたっては検定料を納付せず、送付された「決定通知書」を「検定料収納証明書貼付台紙」に貼って提出してください。
- ② 不許可の方には、出願受付期間前までに別途通知いたします。出願書類等の提出にあたっては、検定料を納付の上、必要な手続きをしてください。
検定料の納付がない方の当該入学者選抜試験に係る出願は受理しません。

(6) その他

諸事情により、申請期限までに申請書類および証明書が提出できない場合は、一旦検定料を納付した上で、出願書類等を提出してください。

5 入学料免除・徴収猶予および授業料免除について

(1) 入学料免除・徴収猶予

入学料免除または徴収猶予を希望する者は、以下により申請手続を行ってください。

- ① 入学料免除の対象者（次のいずれかに該当する場合に限られます。）
ア) 経済的理由により入学料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀と認められる者
イ) 平成30年4月から平成31年3月までの間に本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害・地震等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者
- ② 入学料徴収猶予の対象者（次のいずれかに該当する場合に限られます。）
ア) 経済的理由により納付期限までに納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者
イ) 平成30年4月から平成31年3月までの間に本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害・地震等の災害を受けたことにより、納付期限までに入学料の納付が困難であると認められる者
- ③ 免除の額
入学料の免除が必要と認められた者に対して、納付すべき入学料の全額または半額を免除します。
- ④ 申請書類の請求方法および請求先
「返信用封筒・請求用封筒の記入例」（46ページ参照）により、請求してください。
請求先：〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 秋田大学学生支援・就職課
*** 請求用封筒の左下に「入学料免除・徴収猶予申請書類請求」と朱書きしてください。**
なお、直接学生支援・就職課の窓口においても請求できます。
- ⑤ 申請書類の請求期間（合格者発表の前に請求してください。）
平成31年1月15日(火)から **入学手続期間開始の10日前まで**に請求してください。（土・日・祝日を除く）
- ⑥ 申請書類の提出先および申請期間（**入学手続期間前です。ご注意ください。**）
提出先：秋田大学学生支援・就職課
申請期間：前期日程合格者 平成31年3月12日(火)・13日(水)
後期日程合格者 平成31年3月22日(金)・25日(月)

*** 入学料免除・徴収猶予に関する問い合わせ先**
秋田大学学生支援・就職課 学生生活担当 電話 018-889-2265・2263

(2) 授業料免除

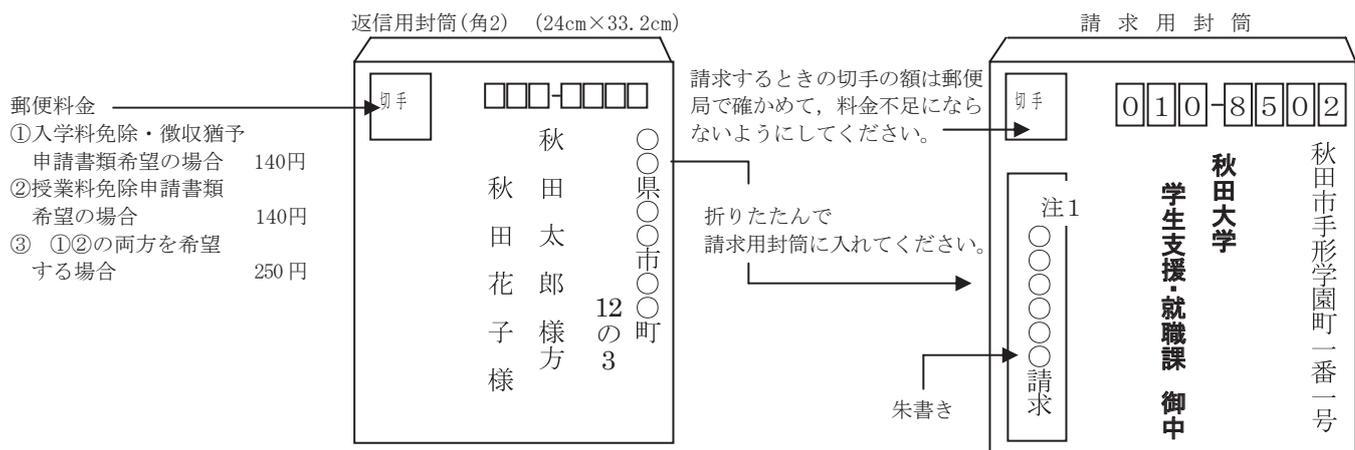
授業料免除を希望する者は、以下により申請手続を行ってください。

- ① 授業料免除の対象者
ア) 経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者
イ) 平成30年4月から平成31年3月までの間に本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害・地震等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者
- ② 免除の額
授業料の免除が必要と認められた者に対して、納付すべき前期分授業料の全額、半額または3分の1を免除します。
- ③ 申請書類の請求方法および請求先
「返信用封筒・請求用封筒の記入例」（46ページ参照）により、請求してください。
請求先：〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 秋田大学学生支援・就職課
*** 請求用封筒の左下に「授業料免除申請書類請求」と朱書きしてください。**
なお、直接学生支援・就職課の窓口においても請求できます。
- ④ 申請書類の請求期間（合格者発表の前に請求することができます。）
平成31年1月15日(火)～平成31年3月15日(金)（土・日・祝日を除く）
- ⑤ 申請書類の提出先および申請期間
提出先：秋田大学学生支援・就職課
申請期間：平成31年3月12日(火)～平成31年4月5日(金)（土・日・祝日を除く）

*** 授業料免除に関する問い合わせ先**
秋田大学学生支援・就職課 学生生活担当 電話 018-889-2265・2263

【返信用封筒・請求用封筒の記入例】

※請求用封筒の宛名は、必ず「秋田大学学生支援・就職課」と明記してください。



『注1』には、必要に応じ、次のように記入してください。

- ・入学料免除・徴収猶予申請書類請求
- ・授業料免除申請書類請求

6 秋田大学「新入生育英奨学資金」について

本制度は、平成26年に解散した財団法人土崎感恩講より経済的困窮学生支援の目的でいただいた寄附金を原資として、学部新入生を対象に平成30年度から始めた秋田大学独自の給付型奨学金制度です。

秋田大学「新入生育英奨学資金」の給付を希望する者は、以下により申請手続きを行ってください。

※財団法人土崎感恩講は、1830年に現在の秋田市土崎の有志161人が私財を持ち寄り、窮民救済を目的に設立された法人。平成26年に解散。

- ① 新入生育英奨学資金の対象者（次のいずれかに該当する場合には限られます。）
 - ア) 経済的理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる者
 - イ) 平成30年4月から平成31年3月までの間に、本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害・地震等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者。
- ② 給付の額
新入生育英奨学資金の給付が必要と認められた学生に対して、10万円を給付します。
ただし、入学料免除許可者については5万円の給付とします。
- ③ 申請書類の交付先（入学後）
交付先 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 秋田大学学生支援・就職課
- ④ 申請書類の交付期間（入学後）
平成31年4月8日（月）～平成31年4月16日（火）（土・日を除く）
- ⑤ 申請書類の提出先および申請期間（入学後）
提出先：学生支援・就職課窓口
申請期間：平成31年4月22日（月）～平成31年4月26日（金）（土・日を除く）

* 秋田大学「新入生育英奨学資金」に関する問い合わせ先

秋田大学学生支援・就職課 学生生活担当 電話018-889-2265・2263

7 学生寮について

【入寮案内請求および申し込みについて】

入寮案内の請求期間、申し込み期間等に関する詳細は平成31年1月上旬（予定）に本学ホームページ（<http://www.akita-u.ac.jp/>）でお知らせします。

入寮案内請求および申請については、**合否の発表に関わらず**、上記ホームページにある請求期間および申し込み期間になりますので、ホームページで必ずご確認ください。

なお、入寮案内請求期間および申し込み期間を過ぎてからの受付は、一切いたしませんのでご了承ください。

大学トップページの新着一覧および**受験生の方へ**→**NEWS & TOPICS**に掲載します。

*モバイル/スマートフォンの方はこちらからご覧いただけます。 →
寮・アパート・下宿に掲載します。



本学には次の学生寮があります。

なお、選考は**経済的困窮度の高い世帯を優先し**、通学状況（所要時間1.5時間以上等）、家族数を含めた家庭状況により行います。

名称	定員	居室形態	居室面積	寄宿料（月額）	入寮対象者	所在地
にしやちりょう 西谷地寮	130名	個室	約18㎡ (約10.8畳)	20,000円	男子学生 (留学生含む)	秋田市手形字西谷地5-1
てがたりょう 手形寮	40名	個室	約9㎡ (約5.5畳)	5,300円	女子学生 (留学生除く)	秋田市手形田中5-50
ほんどうりょう 本道寮	31名	個室	約16㎡ (約9.7畳)	6,900円		秋田市柳田字糠塚100-3

* 寄宿料の他、私生活のために使用する光熱水料、インターネット回線およびNHK受信料等は、自己負担になります。その月額、10,000円程度です。

【募集人数】

男子寮（西谷地寮） 30名程度（留学生含む）

女子寮（手形寮・本道寮） 20名程度（留学生除く）

【過去倍率】（参考）

男子寮

平成30年度 約9倍

平成29年度 約5倍

平成28年度 約6倍

女子寮

平成30年度 約7倍

平成29年度 約4倍

平成28年度 約5倍

* 学生寮に関する問い合わせ先

秋田大学学生支援・就職課 学生生活担当 電話 018-889-2240

8 平成31年度秋田大学「個別の入学資格審査」について

学校教育法施行規則第150条第7号による「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの」として本学へ出願を希望する者は、事前に本学の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願できることとなります。

平成31年度入試に関する入学資格審査は、次のとおり実施します。

(1) 個別の入学資格審査を申請できる者

本学へ入学する意志があり、平成31年3月31日までに18歳に達し、本学の指定する書類を提出できる者で、次のいずれかに該当するもの

- ① 高等学校に対応する学校の課程（当該課程を合わせて学校教育における12年の課程を有していることが認められるもの）に在学した者または在学している者
- ② 上記①以外の者で、各種の学校等での学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む。）が、高等学校卒業と同等以上であると客観的に確認できるもの

(2) 申請受付期限

平成30年12月10日（月）（必着）

ただし、大学入試センター試験受験後に、審査を申請する場合は、平成31年1月21日（月）～ 23日（水）（必着）

(3) 申請書類

審査を希望する者は、秋田大学入学資格認定申請書〔別紙様式〕に次の各号の区分毎に掲げる書類を添えて、本学に申請してください。

- ① 上記(1)の①による申請者
 - ア 修業年限および学年・学期に関する事項が記載された書類
 - イ 課程の組織に関する事項が記載された書類
 - ウ 教育課程および授業日数に関する事項が記載された書類
 - エ 学習の評価および教育課程修了の認定に関する事項が記載された書類
 - オ 入学および卒業に関する事項が記載された書類
 - カ 当該申請者に係る教科・科目の履修状況の証明書
- ② 上記(1)の②による申請者
 - ア 学校教育における9年の課程修了後の公的な教育施設における学習歴を証明する書類
 - イ 社会での実務経験等（資格取得を含む。）が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

(4) 審査方法

申請書類により審査を行います。申請書類の不備や疑義等がある場合は、期間を定めて当該申請書類の補正を求め、それが満たされないときは審査を拒否することがあります。

(5) 審査基準

- ① 上記(1)の①による申請者については、当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であることを審査します。
- ② 上記(1)の②による申請者は、学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む。）について精査し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかを審査します。

(6) 認 定

審査の結果、入学資格を認める場合は、申請者に対して秋田大学入学資格認定書を交付します。入学資格を認めない場合は、申請者に対してその理由を付して通知します。

(7) 認定の取消

申請者が高等学校に対応する学校の課程の修了見込みまたは学習歴もしくは実務経験等の終了見込みで申請した場合であって、その要件が満たされない場合は、入学資格認定を取り消します。

(8) 申請書類の提出方法および提出先・照会先

申請書類を郵送する場合は、簡易書留郵便とし封筒のおもて面に「入学資格認定申請書在中」と朱書きしてください。また、返信用封筒（長形3号、簡易書留速達料金分（672円）の切手を貼付し、あて先を明記したもの）を同封してください。（持参の場合も返信用封筒を提出してください。）

なお、審査を申請するに当たっては、事前に入試課に照会願います。

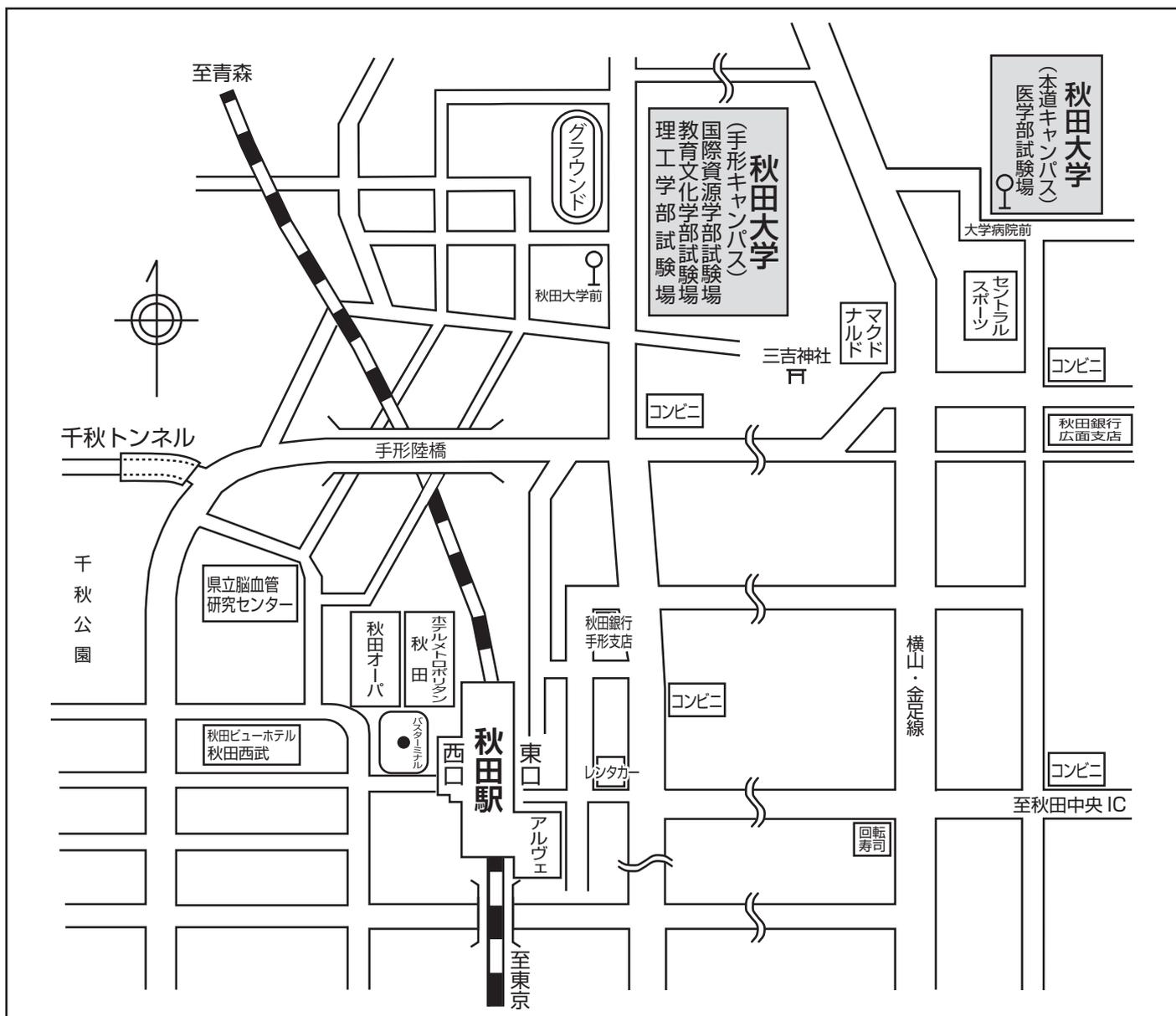
〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号
秋田大学入試課 電話 018-889-2256

○別紙様式（A4判）

秋田大学入学資格認定申請書	
平成 年 月 日	
秋田大学長 殿	
(ふりがな) 申請者氏名 (自署)	(男・女)
生年月日	年 月 日生
<p>私は、平成31年度秋田大学一般入試を受験したいので、必要書類を添えて入学資格の認定を申請します。</p>	
記	
出願希望学部	: _____
申請者住所	: 〒 _____ _____
電話番号	: _____ () _____

9 試験場の案内

【秋田試験場】



国際資源学部 教育文化学部 理工学部

秋田試験場(手形キャンパス) の交通案内

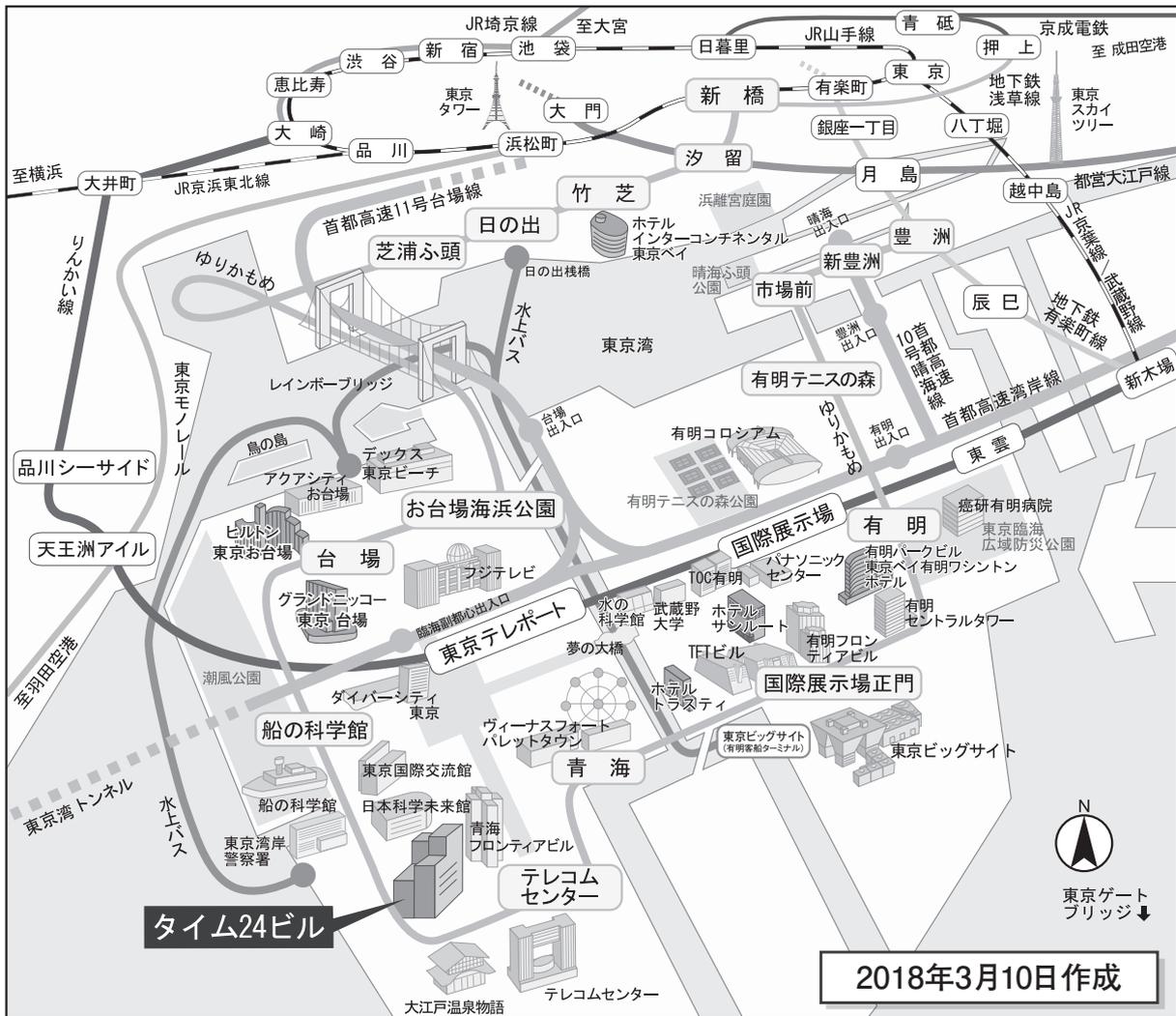
- 秋田駅西口バスのりば 12番から
秋田中央交通バス 手形山経由大学病院線
秋田大学前下車 徒歩約1分
- 秋田駅東口から秋田大学手形キャンパスまで
徒歩約15分 (約1.3km)

医 学 部

秋田試験場(本道キャンパス) の交通案内

- 秋田駅西口バスのりば 12番から
秋田中央交通バス 手形山経由大学病院線
- 秋田駅西口バスのりば 11番から
秋田中央交通バス 太平線, 松崎団地線,
赤沼線
- 秋田駅東口バスのりば 2番から
秋田中央交通バス 赤沼線
各線とも大学病院前下車 徒歩約5分

【東京試験場】（国際資源学部・教育文化学部・理工学部）



2018年3月10日作成

東京試験場の交通案内

ゆりかもめ

新橋駅	約18分	テレコムセンター駅	下車徒歩約2分	タイム24ビル
豊洲駅	約12分			

りんかい線

新木場駅	約7分	東京テレポート駅	下車徒歩約18分	タイム24ビル
大崎駅	約11分		平日のみ運行・無料循環バス約3分(関係者用)	

※大崎駅よりJR埼京線相互直通運転。東京テレポート駅から渋谷(約18分)、新宿(約23分)、大宮(約53分)の各駅を直接結びます。

バス

門前仲町(都バス 海01系統)	約40分	東京港湾合同庁舎	下車すぐ	タイム24ビル
-----------------	------	----------	------	---------

車 ※首都高速ご利用の場合

都心方面	高速11号台場線	台場出入口から	約5分
横浜・羽田方面	高速湾岸線	臨海副都心出入口から	約3分
千葉・葛西方面	高速湾岸線	有明出入口から	約7分

タイム24ビル駐車場

- 台数：来客用約20台（車椅子用1台）
- フロア：地下1階
- 時間：7:30～21:00（土日祝日19:00まで）
- 料金：250円/30分
- 高さ制限：2.1m

※1階コンビニで割引駐車券の販売を行っています。月極駐車場もございます。

*注意事項

- 東京試験場の下見は試験前日の13時～17時までの間に行ってください。ただし、試験室には入室できません。
- 入口に「秋田大学入学試験東京試験場」の表示をします（下見時間中も表示します）。
- 最寄りの駅は「ゆりかもめ テレコムセンター駅」です。

【名古屋試験場】（国際資源学部・理工学部）



名古屋試験場の交通案内

- JR東海道本線 名古屋駅 桜通口 徒歩5分
- 名古屋市営東山線 名古屋駅 徒歩5分
- 名古屋市営桜通線 名古屋駅 徒歩5分
- 名鉄名古屋本線 名鉄名古屋駅 徒歩5分
- 近鉄名古屋線 近鉄名古屋駅 徒歩5分

* 注意事項

- 名古屋試験場の下見は試験日前日の15時から17時までの間に行ってください。
なお、下見が可能なのは試験場入口(16階)までであり、試験室への立入はできません。

お問い合わせ先

■ **入学試験に関すること** ※問い合わせの際は、必ず志願者本人が行ってください。

入 試 課 TEL:018-889-2256

■ **学費・入学料免除・徴収猶予および授業料免除に関すること**

学生支援・就職課 TEL:018-889-2265・2263

■ **奨学金に関すること**

学生支援・就職課 TEL:018-889-2263

■ **学生寮に関すること**

学生支援・就職課 TEL:018-889-2240

■ **検定料・入学料・授業料納入に関すること**

経理・調達課 出納担当 TEL:018-889-2234

※ お問い合わせは、下記時間内に行ってください。
月曜日 ~ 金曜日 8:30 ~ 17:00
(ただし、祝日、12月29日~1月3日は除く)

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

TEL:018-889-2256 FAX:018-835-9924

URL <http://www.akita-u.ac.jp/>